

R5年度 事務事業評価シート

229 課・局・室・所(係) 教育総務課 学校施設係 事務事業番号 226020505

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	学校施設整備事業	5	学校和式トイレ洋式化事業				政策的
	家庭では洋式トイレが一般化しており、和式トイレの使用に不慣れな小・中学生や和式トイレの使用が困難な避難住民等の負担軽減を図るため、トイレの洋式化を進める。				対象	和式トイレ		
				手段	洋式トイレに改修する。			
				意図	児童生徒や避難住民が清潔で使いやすいトイレにする。			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)				R5(決算額)			R6(予算額)	
支出内訳				工事請負費	2,790千円	工事請負費	3,944千円	工事請負費	4,440千円	
				・高千帆中3器		・小野田中2器				
				・小野田中4器		・厚狭小2器				
				・竜王中3器		・小野田小2器				
				・埴生中4器		・高千帆小1器				
合計					2,790千円		3,944千円		4,440千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債					90%	3,500千円	90%	3,900千円	
	その他									
	一般財源					2,790千円		444千円		540千円
合計					2,790千円		3,944千円		4,440千円	
人工数 人件費	0.00人			0.05人	287千円	0.25人	1,456千円			
総経費					3,077千円		5,400千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	洋式化改修便器数	活動	8器	12器	12器	12器
			9器	14器	14器	
			112.50%	116.67%	116.67%	
2	洋式化率	活動	0.5	0.5	0.5	0.5
			0.27	0.33	0.35	
			54.00%	66.00%	70.00%	
3						

成果	避難所として使用されることもある小中学校屋内運動場のトイレについて、令和5年度をもって全て洋式化することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	学校校舎内の洋式化率は県内他市町と比べて未だ低い状況である。洋式化は学校だけでなく保護者、地域、議会等からも求められていることから、令和7年度以降は洋式化する便器数を増やしていきたい。資材価格や人件費が高騰する中、コストは拡大するが、公共施設等適正管理推進事業債等有利な起債の活用や、複数者から見積を徴する等により、最小限に抑えたい。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
	成果	拡充	コスト	拡大	①	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

230 課・局・室・所(係) 教育総務課 学校施設係 事務事業番号 226020513

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
5	学校施設整備事業	13	高千帆小学校校舎整備事業	2-(2)			政策的	
事業概要	高千帆小学校の校舎は平成16年に現在の管理棟が完成し、令和元年度は普通教室19教室と特別支援学級5教室で運営を行っている。高千帆小学校の児童数は令和7年にかけて現在の617人から698人への増加が見込まれており、このままでは令和5年度からの学級数に対応できず学校運営が出来なくなるため新校舎を建設する。				対象	高千帆小学校の施設		
					手段	高千帆小学校の校舎を建設する		
					意図	良好な教育環境を維持する		

事業期間	R2以前	年度	～	R5	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)				R5(決算額)		R6(予算額)		
支出内訳	工事請負費(建築主体)			工事請負費(建築主体等)	380,900千円					
	・機械設備工事等)	253,669千円		工事請負費(電気設備工事)	31,748千円					
	工事請負費(電気設備工事)	17,100千円		工事請負費(その他)	5,685千円	家屋調査委託料(事後)	1,573千円			
	設計意図伝達業務委託	1,600千円		設計意図伝達業務委託	3,900千円					
	補償金	249千円		工事監理業務委託	8,250千円					
	消耗品費	87千円		備品購入費	2,806千円					
				その他(水道加入金等)	1,460千円					
合計		272,705千円			434,749千円			1,573千円		
財源内訳/割合	国庫支出金	1/2,2/3	54,232千円	1/2,2/3	114,141千円					
	県支出金	1/6	3,820千円	1/6	5,812千円					
	地方債	90%,75%,80%	169,900千円	90%,75%,80%	233,800千円					
	その他	水道料金	316千円	水道料金	55千円					
	一般財源		44,437千円		80,941千円			1,573千円		
	合計		272,705千円		434,749千円			1,573千円		
人工数	人件費	1.10人	6,362千円	1.05人	6,020千円	0.05人	291千円			
総経費		279,067千円		440,769千円			1,864千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	高千帆小学校校舎建設	活動	工事	工事	家屋調査業務(事後)	
			工事中	完了	完了	
			-	100.0%	100.00%	
2						
3						

成果	令和4年度まで少人数教室、図工室、特別支援教室を普通教室に転用し教室不足に対応してきた。令和4年度末に新校舎が完成したことにより教室不足が解消し、児童が安心して学校生活を送ることができる、良好な教育環境を確保することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	-
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

231 課・局・室・所(係) 教育総務課 学校施設係 事務事業番号 226020514

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
5	学校施設整備事業	14	屋内運動場照明器具LED化改修事業				政策的	
事業概要	小・中学校屋内運動場の照明器具は水銀灯が使用されているが、水銀灯は2020年に製造中止され在庫のみで対応しているため計画的にLEDに更新する。				対象	小・中学校屋内運動場照明器具		
					手段	照明器具のLED化		
					意図	施設の機能の回復と質的向上		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)		
支出内訳			実施設計委託料		備品購入費		校用器具費	40,454千円
			工事請負費		・須恵小学校	2,090千円		
			・小野田中学校		・赤崎小学校	1,882千円		
					・厚狭小学校	2,638千円		
					備品購入費			
					・小野田中学校	3,553千円		
					・厚狭中学校	2,769千円		
合計						12,932千円		40,454千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債				100%	12,900千円	100%	40,400千円
	その他							
	一般財源					32千円		54千円
合計						12,932千円		40,454千円
人工数 人件費	0.00人		0.00人		0.20人	1,165千円		
総経費						14,097千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	照明器具をLED化する学校	活動		3校	3校
				5校	
				166.67%	
2					
3					

成果	LED照明器具に更新することにより省電力化が図られただけでなく、電球交換作業の負担及び水銀灯在庫不足に対する不安が軽減された。					
R7年度に向けた課題及び改善策	すでに製造中止されている水銀灯だけでなく、令和9年をもって蛍光灯の製造及び輸出入についても停止されることとなったことから、現在計画には入っていない厚陽小中学校や出合小学校等、蛍光灯を設置している屋内運動場についても検討していかなければならない。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

232 課・局・室・所(係) 教育総務課 学校施設係 事務事業番号 226020517

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	学校施設整備事業	17	学校施設改修事業(臨時)				政策的
	不具合が発生した学校施設について、計画的に改修を行う。また、学校の要望等により施設の解体や新設等を行う必要がある場合も計画的に工事を行う。				対象	改修が必要な箇所等		
					手段	改修工事を行う		
意図					児童生徒の安全確保、利便性向上と施設の延命化			

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)		
支出内訳			工事請負費	千円	工事請負費		工事請負費	2,164千円
			厚狭小 給水管(第2校舎)	2,178千円	本山小 屋根改修(管理特別棟)	1,298千円	修繕料	845千円
					厚狭小中 職員室等エアコン室外機補修	1,299千円		
	合計			2,178千円		2,597千円		3,009千円
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				損害保険金	649千円		
一般財源			2,178千円		1,948千円		3,009千円	
合計			2,178千円		2,597千円		3,009千円	
人工数 人件費	0.00人		0.05人	287千円	0.02人	117千円		
総経費				2,465千円		2,714千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	不具合の発生した箇所の改修等	活動		1箇所 1箇所 100.00%	2箇所 2箇所 100.00%	2箇所
2						
3						

成果	令和5年度は令和2年度の台風9号により剥離・破損し仮復旧を行っていた本山小学校管理棟の屋根改修等を行い、児童や教職員が安心して過ごせる環境を確保することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	市内の学校施設は老朽化しており、修繕箇所が増加していることから、計画的に改修を行っていく必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

233 課・局・室・所(係) 教育総務課 学校施設係 事務事業番号 226020519

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
5	学校施設整備事業	19	屋内運動場長寿命化改修事業				政策的	
事業概要	「山陽小野田市学校施設整備計画」に基づき中長期的な維持管理に係るコストの縮減及び平準化を図るとともに学校施設に求められる機能・性能を確保するために屋内運動場の長寿命化改修を行う。令和5年度は高千帆小学校屋内運動場の外壁改修工事を実施する。				対象	屋内運動場		
					手段	屋根、外壁、内部改修工事等の長寿命化改修		
					意図	児童生徒の安全確保、建物の延命化		

事業期間	R4 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)		
支出内訳			実施設計委託費		実施設計委託費		工事請負費	62,576千円
			・高千帆小学校(外壁改修)	2,420千円	・高千帆小学校(長寿命化)	3,597千円		
					工事請負費			
					・高千帆小学校(外壁改修工事)	35,933千円		
合計			2,420千円		39,530千円		62,576千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金					11,850千円		6,830千円
	県支出金							
	地方債		75%	1,800千円	90%、75%	23,800千円	90%、75%	46,100千円
	その他							
	一般財源			620千円		3,880千円		9,646千円
合計			2,420千円		39,530千円		62,576千円	
人工数 人件費	0.00人		0.02人	115千円	0.61人	3,554千円		
総経費			2,535千円		43,084千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	実施設計する棟数	活動		1棟	1棟	1棟
				1棟	1棟	
				100.00%	100.00%	
2	工事する棟数	活動			1棟	1棟
					1棟	
					100.00%	
3						

成果	令和2年度に策定した「学校施設整備計画」に基づき、令和5年度は外壁に落下や剥離がみられた緊急度の高い高千帆小学校屋内運動場外壁改修工事を完了し、児童の安全を確保することができた。また、令和6年度に本山小学校屋内運動場外壁等改修工事を実施するための実施設計業務を完了することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	今後も「学校施設整備計画」に基づき、各学校施設の老朽度を考慮しながら検討し、計画的に学校施設の長寿命化を図っていく必要がある。成果・コストについては、改修の優先順位について市長部局と検討を行った上で計画していく。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

234 課・局・室・所(係) 教育総務課 事務事業番号 226020701

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
7	学校適正規模・適正配置事業	1	埴生小学校スクールバス運行事業				政策的	
事業概要	令和3年度末で津布田小学校は閉校し、津布田小学校児童はスクールバスを利用して埴生小・中学校に通学している。スクールバスの運行における必要経費について計上する。				対象	埴生小・中学校及び旧津布田小学校児童		
					手段	統合後の交通手段を確保する		
					意図	児童の通学の安全を確保する		

事業期間	R3 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳			燃料費	253千円	燃料費	186千円	バス運行业務委託料	2,598千円
			通信運搬費	35千円	保険料	35千円	機械器具借上料	1,313千円
			委託料	2,104千円	通信運搬費	37千円	燃料費	434千円
			使用料及び賃借料	3,960千円	バス運行业務委託料	2,055千円	保険料	52千円
					機械器具借上料	2,195千円	通信運搬費	48千円
					安全運転管理者協議会負担金	15千円	安全運転管理者協議会負担金	15千円
					手数料	1千円	手数料	1千円
合計				6,352千円		4,524千円		4,461千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源				6,352千円		4,524千円	
合計				6,352千円		4,524千円		4,461千円
人工数 人件費	0.00人		0.4人	2,293千円	0.20人	1,165千円		
総経費				8,645千円		5,689千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	スクールバスの整備	活動		完了 一部未了	完了 完了	
2						
3						

成果	令和4年4月からスクールバスを運行し、旧津布田小学校児童を埴生小学校へ安全に通学させることができた。				
R7年度に向けた課題及び改善策	学校やバス運行业務委託業者と適切に調整を行い、引き続き安全運行に努めていく。				
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	令和3年度は「津布田小学校統合事業」				

R5年度 事務事業評価シート

235 課・局・室・所(係) 学校給食センター 事務事業番号 226020906

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	9	学校給食事業	6	学校給食実施事業(物価高騰分)				行政内部管理
	社会情勢等の影響により食品食材の物価が高騰している。そのため学校給食の提供にも支障があり、学校給食食材の物価高騰相当額について市が負担することで、保護者の負担軽減を図り学校給食を安定提供する。				対象	児童・生徒の保護者		
					手段	物価高騰の補填		
				意図	保護者負担の軽減			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)				R5(決算額)			R6(予算額)	
支出内訳				12月補正			需用費		賄材料費	43,875千円
				賄材料費	2,750千円		(賄材料費)	25,395千円		
	合計				2,750千円			25,395千円		43,875千円
財源内訳/割合	国庫支出金			地方創生臨時交付金	2,750千円					
	県支出金									
	地方債									
	その他								雑入	3,559千円
	一般財源							25,395千円		40,316千円
合計					2,750千円		25,395千円		43,875千円	
人工数 人件費	0.00人			0.32人	1,835千円		0.32人	1,864千円		
総経費					4,585千円			27,259千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	学校給食提供数 小学校・中学校	0	241,783	907,000食	
		0	218,053	906,711食	
		0.00%	90.00%	99.00%	
2		0	0		
		0	0		
		0.00%	0.00%		
3		0	0		
		0	0		
		0.00%	0.00%		

成果	学校給食食材の物価高騰相当額を市が負担することにより、保護者の負担軽減になった。				
R7年度に向けた課題及び改善策	今後の物価高騰に対応するための給食費見直しについて、検討する必要がある。				
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	縮小
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

236 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 226020907

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
9	学校給食事業	7	学校給食実施事業(物価高騰分)				行政内部管理	
事業概要	社会情勢や円安の影響により食品食材の物価が高騰している。そのため学校給食(幼稚園)の提供にも支障が出る可能性が高いため、学校給食食材の物価高騰相当額について新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、増額補正を行うことにより安定的な学校給食の提供を図る。				対象	埴生幼稚園 園児の保護者		
					手段	物価高騰分の補填		
					意図	保護者の負担軽減		

事業期間	R4 年度	~	R5 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳			賄材料費	8千円	賄材料費	84千円	賄材料費	172千円
	合計			8千円		84千円		172千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他						雑入	37千円
	一般財源				8千円		84千円	135千円
合計				8千円		84千円	172千円	
人工数 人件費	0.00人		0.05人	287千円	0.02人	117千円		
総経費				295千円		201千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	学校給食提供数 埴生幼稚園分	活動	735食	5,000食	
			735食	2,901食	
			100%	58.02%	
2					
3					

成果	物価高騰に伴う食材の価格高騰に対応するため、賄材料費について増額補正を行った。				
R7年度に向けた課題及び改善策	令和6年度も実施する。				
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

237

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務・指導係

事務事業番号

226021209

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	12	学校ICT環境整備事業	9	GIGAスクール推進事業	2-(2)	デジタル化		政策的
	児童生徒に1人1台ずつ整備したタブレット端末を活用して、効果的な授業ができるようICT支援員を配置し、学校からの質問や機器の故障に対応可能な環境を整備する。また、学校及びWi-Fi環境のない家庭のインターネットにかかる通信料を負担する。 【令和5年度以降】 1人1台端末環境による学びが本格化し、学校における端末活用は日常化の段階に移行しており、今後は子供の学びのDXを実現していくための支援基盤を構築することが重要と考える。 そのため、県を中心に県内市町と緊密に連携しながら、GIGAスクール運営支援センターの機能強化を図る。				対象	小・中学校		
					手段	ICT支援員の配置、運営支援体制の整備等		
					意図	学校が端末を活用した授業ができる環境を整える。		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
支出内訳	通信運搬費	23,125千円		通信運搬費	23,902千円	通信運搬費	20,443千円	通信運搬費	19,381千円		
	人材派遣委託料	6,765千円		手数料	113千円	手数料	42千円	人材派遣委託料	12,913千円		
	システム保守委託料	263千円		人材派遣委託料	15,067千円	人材派遣委託料	13,437千円	機械器具費	6,189千円		
	電算委託料	1,484千円		システム保守委託料	438千円	システム保守委託料	657千円	調査委託料	5,322千円		
	修繕料	162千円		機械器具費	2,751千円	機械器具費	5,547千円	修繕料	1,040千円		
				千円	ソフトウェアライセンス料	23,701千円			システム保守委託料	657千円	
					工事委託料	1,485千円					
合計		31,799千円			67,457千円			40,126千円		45,502千円	
財源内訳/割合	国庫支出金	1/2	3,382千円	1/2,1/3,10/10	57,296千円	1/2	2,783千円	1/3	2,655千円		
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源		28,417千円		10,161千円		37,343千円		42,847千円		
合計		31,799千円		67,457千円		40,126千円		45,502千円			
人工数	人件費	0.55人	3,181千円	0.70人	4,013千円	0.73人	4,253千円				
総経費		34,980千円		71,470千円		44,379千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6	
1	GIGAスクールサポーター (ICT支援員)配置人数	活動	2名	2名	2名	2名
			2名	2名	2名	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2	週3回以上クラウドを利用した家庭学習を行う児童生徒の割合 (アンケートは3学期に実施)	成果		50%	70%	80%
				36.4%	46.70%	
				72.80%	66.71%	
3						

成果	Wi-Fi環境のない家庭にモバイルルーターを貸し付けることで、新型コロナウイルス感染症拡大防止による出席停止の児童生徒に対しても、オンラインでつながり、学びを保障することができた。また、フィルタリングソフトを強化することで、有害サイトや有害情報へのアクセスを防ぐこと等が可能となり、有害サイトや有害情報へのアクセスやチャットを使った子ども同士のトラブルを未然に防止する教育環境を整備した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和7年度に1人1台端末の更新予定					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

238

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

事務事業番号

226021214

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	12	学校ICT環境整備事業	14	教育系サーバー更新事業				政策的
	教育系システムサーバー群(ADサーバー、グループウェアサーバー、ファイルサーバー、ウイルス対策用サーバー、クライアント運用管理サーバー等)のOSサポート期限が令和5年1月に到来するためシステム更新を行う。更新のタイミングに併せ、サーバーを仮想化し、統合することにより、コストダウンを図る。また、サーバーを冗長化することにより、システムの安定稼働を図る。 【6月補正】令和4年3月の文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」の改訂に従い、インターネット分離を行う。教育系サーバー更新事業と同時に実施することでコストダウンを図る。 【9月補正】世界的な半導体不足により年度内の事業実施が困難であるため、全額減額し、債務負担行為を設定し、延長されたOSサポート期限までに事業を実施しシステムの安定稼働を図る。				対象	小・中学校、給食センター、図書館		
					手段	デジタル推進課に新しいサーバを設置する。		
				意図	サーバを更新して、教育系システム、ネットワークの安定稼働を図る。			

事業期間	R4 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					システム保守委託料	660千円	機械器具借上料	24,621千円
					電算委託料	4,971千円		
					ネットワーク改修委託料	2,710千円		
					機械器具借上料	11,650千円		
	合計					19,991千円		24,621千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					19,991千円		24,621千円
合計					19,991千円		24,621千円	
人工数 人件費	0.00人		0.00人		0.20人	1,165千円		
総経費						21,156千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	サーバー更新	活動		契約	更新・運用	運用
				契約	更新・運用	
				100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	教育系システムサーバー群の更新を予定通り実施した。併せて国のガイドラインに基づき学校用パソコンのインターネット分離を行った。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和5年度にサーバーの更新を行い、令和6年度以降はリース料の支払いを行う。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	債務負担行為を設定:期間R4～R10					

R5年度 事務事業評価シート

239 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226021215

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	12	学校ICT環境整備事業	15	統合型校務支援ツール導入事業				政策的
	統合型校務支援システムの導入により、情報の一元管理・再利用による校務の効率化に加えて、校務だけでなく校務以外のさまざまな情報をつなぎ、一人一人の子どもに紐づく情報を多面的に可視化することで、教職員の気づきを最大化する。エビデンスに基づく個に応じた指導や、組織的な学級運営・学校経営を支援する。				対象	小・中学校に配置済みのパソコン		
					手段	統合型校務支援システムの導入		
				意図	校内事務の効率化により、教育の質の向上、業務負担の軽減			

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					ネットワーク改修委託料		システム保守委託料	5,632千円
					通信運搬費			
合計								5,632千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源							5,632千円
合計								5,632千円
人工数 人件費	0.00人		0.00人		0.33人	1,922千円		
総経費						1,922千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	統合型校務支援システムの導入校	活動		0	18校	18校
				0	18校	
				0.00%	100.00%	
2						
3						

成果	令和5年度に統合型校務支援システム導入のためのネットワーク改修を行う予定だったが、改修の必要がなくなったため、ネットワーク改修は行わなかった。3学期に各校にデモ環境を構築した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和6年度から、校務支援システムが本格稼働する。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

240 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226021301

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
13	特別支援教育支援事業	1	特別支援教育支援員配置事業				政策的	
事業概要	特別な支援が必要な小・中学生が在籍し、担任だけでは対応しきれない状況にある学級で、学習支援を行うとともに、学級運営を安定化させるため、特別支援教育支援員を配置する。				対象	特別な支援が必要な児童生徒が在籍している学級		
					手段	特別支援教育支援員の配置		
					意図	適切な学級運営の確保		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
	保険料	126千円	保険料	134千円	保険料	124千円	特別支援教育支援員業務委託料	8,947千円		
	特別支援教育支援員業務委託料	7,714千円	特別支援教育支援員業務委託料	8,078千円	特別支援教育支援員業務委託料	7,453千円	保険料	145千円		
	合計	7,840千円		8,212千円		7,577千円		9,092千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
一般財源	7,840千円		8,212千円		7,577千円		9,092千円			
合計	7,840千円		8,212千円		7,577千円		9,092千円			
人工数	0.15人	870千円	0.15人	860千円	0.26人	1,515千円				
総経費		8,710千円		9,072千円		9,092千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	特別支援教育支援員の配置人数	活動	20人	20人	20人	20人
			21人	25人	22人	
			105.00%	125.00%	110.00%	
2						
3						

成果	特別支援員の配置により、特別な支援を必要とする児童生徒に対して合理的配慮を行うことができ、当該児童生徒ばかりでなく学校全体の教育活動の充実につながった。					
R7年度に向けた課題及び改善策	特別な支援を必要とする児童生徒が増えており、障害者差別解消法により義務付けられた合理的配慮を実施するために、特別支援教育支援員のニーズは高まり、拡充の検討が必要である。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

241 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226021302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	13	特別支援教育支援事業	2	特別支援補助教員配置事業				政策的
	障害の程度が重い児童・生徒が多く通学する松原分校で、学習支援を行うとともに、学級運営を安定化させるため、特別支援補助教員を配置する。				対象	松原分校小学部・中学部		
					手段	補助教員の配置		
意図					適切な学級運営の確保			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
	保険料	6千円	保険料	6千円	保険料	6千円	特別支援補助業務委託料	1,237千円		
	特別支援補助	1,151千円	特別支援補助	1,151千円	特別支援補助業務委託料	1,151千円	保険料	7千円		
	業務委託料		業務委託料							
	合計	1,157千円	合計	1,157千円	合計	1,157千円	合計	1,244千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	1,157千円		1,157千円		1,157千円		1,244千円		
合計	1,157千円		1,157千円		1,157千円		1,244千円			
人工数	0.15人	870千円	0.15人	860千円	0.26人	1,515千円				
総経費	2,027千円		2,017千円		2,672千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	特別支援補助教員の配置人数	活動	1人	1人	1人	1人
			1人	1人	1人	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	松原分校には様々な障害のある児童生徒が通学しており、担任の教員だけでは十分に支援できないことについて、特別支援補助教員が児童生徒の安全確保や個別の支援に対応することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	障害者差別解消法に基づく合理的配慮を行うため、特別支援補助教員の配置は引き続き必要である。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

242

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務・指導係

事務事業番号

226021402

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
14	教職員の資質向上事業	2	外国語教育推進事業	2-(2)			政策的
事業概要	ALT(外国語指導助手)を小・中学校に派遣し、教員と連携した授業を実施して英語教育の充実を図っている。学習指導要領が改訂されたため、平成30年度から、小学校5・6年生の「外国語」と、3・4年生の「外国語活動」の試行を始めた。令和2年度の本格実施を見据え、必要なALTを確保するため、令和元年度からALTを3人から5人に増員し、かつ処遇改善を図っている。 【令和5年度以降】 ALTの配置を5人から4人に減員し、ALTによる授業補助の取組に加えて、従来からの課題である「話す」力を育てるために、1人1台端末を有効活用し、中学校1年生から3年生に英会話学習アプリ「TerraTalk(テラトーク)」を本格的に導入し英語教育の充実を図る。				対象	小・中学校児童生徒	
					手段	ALTを公募により採用し学校に派遣及び学習アプリの導入	
					意図	ALTと触れ合うことで、外国語に親しみながら、1人1台端末を活用した学校・家庭学習の推進	

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳	会計年度任用職員報酬	15,000千円		会計年度任用職員報酬	13,135千円		会計年度任用職員報酬	12,000千円	会計年度任用職員報酬	12,000千円
	員報酬			員報酬			社会保険料等	1,911千円	システム利用料	4,421千円
	社会保険料等	2,382千円		社会保険料等	2,095千円		システム利用料	4,420千円	社会保険料等	1,885千円
	合計	17,382千円		15,230千円			18,331千円		18,306千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
一般財源	17,382千円		15,230千円			18,331千円		18,306千円		
合計	17,382千円		15,230千円			18,331千円		18,306千円		
人工数 人件費	0.10人	578千円		0.10人	573千円		0.05人	291千円		
総経費	17,960千円		15,803千円			18,622千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	ALT派遣日数	活動	750日	750日	600日	600日
			728日	648日	593日	
			97.07%	86.40%	98.83%	
2	アンケートで「外国語活動の勉強は大切だと思うか」との問いに、「そう思う」と回答した児童の割合(小6年生)	成果	80%	80%	80%	80%
			89%	79.1%	74.7%	
			111.25%	98.88%	93.38%	
3	アンケートで「英語の授業の内容を理解しているか」との問いに、「理解している」「どちらかといえば理解している」と回答した生徒の割合(中3年生)	成果	80%	80%	80%	80%
			79%	57.5%	51.4%	
			98.75%	71.88	64.25%	

成果	令和5年度から、ALTを5人から4人に減員。中学校においては、英会話学習アプリ「TerraTalk(テラトーク)」を導入した。				
R7年度に向けた課題及び改善策	教員の学習の進め方により、「TerraTalk(テラトーク)」の使用頻度に違いがあるため、各学校に使用を呼び掛けていく。				
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

243 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226021403

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	14	教職員の資質向上事業	3	学校司書配置事業	2-(2)			政策的
	全ての小・中学校に学校司書を配置して、学校における読書活動を推進している。読書の機会の充実による読書活動の推進や授業での学校図書館の活用促進を行うとともに、学校図書館担当教員等の資質向上を図る。				対象	小・中学校児童生徒及び教員		
					手段	司書資格又は教員免許を有する人を任用して、小・中学校に配置する。		
				意図	読書習慣の定着、授業での図書を活用、学校間の図書の相互利用の推進			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)				
支出内訳	会計年度任用職員	26,537千円	会計年度任用職員	27,296千円	会計年度任用職員給料諸手当	30,053千円	会計年度任用職員報酬等	31,209千円		
	員給料諸手当		員給料諸手当		社会保険料等	5,771千円	社会保険料等	6,354千円		
	社会保険料等	5,475千円	社会保険料等	7,119千円						
	合計	32,012千円		34,415千円		35,824千円		37,563千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
一般財源	32,012千円		34,415千円		35,824千円		37,563千円			
合計	32,012千円		34,415千円		35,824千円		37,563千円			
人工数 人件費	0.15人	868千円	0.15人	860千円	0.10人	583千円				
総経費	32,880千円		35,275千円		36,407千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	学校司書配置校数	活動	18校	17校	17校	17校
			18校	17校	17校	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2	小学校における年間貸出し冊数 (目標値の基準:週1冊以上×50週)	成果	50冊	50冊	52冊	52冊
			51.9冊	53冊	50.8冊	
			103.80%	106.00%	97.69%	
3	中学校における年間貸出し冊数 (目標値:月1冊×10か月)	成果	10冊	10冊	10冊	10冊
			6.3冊	7冊	7.8冊	
			63.00%	70.00%	78.00%	

成果	1人が2校を兼務する体制を維持(現状11人)しながら、全ての小・中学校に学校司書を配置。全校配置により、学校司書の専門的な知識・経験に基づき、授業に関連する図書の展示をする等、学校図書館が整備され、読書環境が整うことで児童生徒の読書習慣も定着してきた。更に、読み聞かせや授業支援の活動により、子どもと本をつなげる架け橋的役割を十分に果たしている。					
R7年度に向けた課題及び改善策	国や県における計画や学習指導要領にしたがって、学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図り、児童生徒の自主的、自発的読書活動を充実させ、子どもの読書習慣を定着させる必要がある。また、中央図書館との連携が始まり、公立図書館と連携した学校図書館の新たな読書環境を整えるためにも学校司書の全校配置を維持する必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

244 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226021404

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
14	教職員の資質向上事業	4	教員業務支援員配置事業				政策的	
事業概要	教員の働き方改革の取組として、教員業務支援員を配置し、学校の事務的業務を補助することにより、教員の長時間勤務の削減を図る。				対象	小・中学校の教員		
					手段	学校に教員業務支援員を配置して、教員が行っているの事務的業務の一部を補助する。		
					意図	教員の長時間勤務の削減		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)				
支出内訳	会計年度任用職員報酬等	4,446千円		会計年度任用職員報酬等	4,610千円	会計年度任用職員報酬等	5,405千円	会計年度任用職員報酬等	5,749千円	
	社会保険料等	556千円		社会保険料等	487千円	社会保険料等	190千円	社会保険料等	762千円	
	合計	5,002千円		合計	5,097千円	合計	5,595千円	合計	6,511千円	
	国庫支出金									
財源内訳/割合	県支出金	1/2	1,950千円	1/2	1,950千円	1/2	1,950千円	1/2	1,950千円	
	地方債									
	一般財源		3,052千円		3,147千円		3,645千円		4,561千円	
	合計		5,002千円		5,097千円		5,595千円		6,511千円	
人工数	0.06人	347千円		0.05人	287千円		0.02人	117千円		
総経費		5,349千円		5,384千円		5,712千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	教員(学校)業務支援員配置人数	活動	5名	5名	5名
			5名	5名	5名
			100.00%	100.00%	100.00%
2	配置校の教員の時間外勤務時間数の削減率(平成30年度比)	成果	20%削減	20%削減	20%削減
			21.7%削減	32.9%削減	34.2%削減
			108.50%	164.50%	171.00%
3					

成果	市内大規模校に教員業務支援員を配置しているが、時期によって増減率の差はあるものの、総合的に見ると勤務外時間数は削減し、目標を達成している。 業務を補助してもらえることによって生じた時間を、教育相談活動や成績処理、保護者への対応、授業準備等の業務に充てることができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	業務改善に向け、会議資料のペーパーレス化など、さらなる時間外勤務時間数の削減をめざす。新型コロナウイルス感染症が収束に向かっており、地域連携活動も増えつつあるが、そのため、昨年度よりも教職員の業務は増えている。多くの学校で教員業務支援員を配置したいが、予算の確保が課題。1人1台端末の有効活用によって、業務を効果的に進めていく。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

245

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務係

事務事業番号

226021504

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進		2	教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	15	小中学校保健衛生事業	4	健康診断器材の滅菌消毒業務委託					行政内部管理
	学校の健康診断で使用される医療器材(鼻鏡・歯鏡)の洗浄は、これまで養護教諭が煮沸消毒をしていたが、煮沸消毒では滅失しない菌もあると言われている。医療器材の洗浄・滅菌を専門業者が代行することで、新型コロナウイルス感染症等のウイルス感染の危険性を回避することができ、安全な運用・管理を行うことができるため、滅菌をする専門業者に委託することで、感染症予防の強化を図る。さらに、洗浄・梱包・滅菌処理を業者に一括して依頼することで、各学校に設備や機器を持つ必要が無く、業者で医療器材の保管・配送等の運用管理も行うため、養護教諭の作業時間の削減や2次感染リスクの軽減にもつながっている。						対象	小・中学校	
							手段	健康診断に使用する器材を滅菌消毒の専門業務に委託	
							意図	感染症予防の強化・安全性の確保	

事業期間	R3 年度 ~ R10以降 年度		R3 年度 ~ R10以降 年度		R5(決算額)		R6(予算額)	
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳	消毒業務委託料	997千円	消毒業務委託料	952千円	消毒業務委託料	963千円	消毒業務委託料	1,051千円
	合計	997千円		952千円		963千円		1,051千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	10/10	997千円	10/10	952千円			
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						963千円	1,051千円
合計		997千円		952千円		963千円		1,051千円
人工数 人件費	0.10人	580千円	0.10人	573千円	0.11人	641千円		
総経費		1,577千円		1,525千円		1,604千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	対象小・中学校数	活動	18校	17校	17校	17校
			18校	17校	17校	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	医療器材(鼻鏡・歯鏡)の洗浄・滅菌・管理を、専門業者に委託することにより、健康診断を安全に受診することができた。 また、養護教諭の準備作業の軽減を図ることができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	健診で使用される医療器材の洗浄・滅菌を専門業者に代行することは、新型コロナウイルス感染症等のウイルス感染の危険性を回避することができるため、今後も安全な運用・管理を行う必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

246 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226030402

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	3	指導内容・方法の工夫		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	2	小学校社会科副読本デジタル化事業		デジタル化		政策的
	小学校3・4年生の社会科学学習では、地域を教材化した副読本を使用し授業を実施している。副読本「はっけん！山陽小野田」は、本市の歴史や文化・産業、主要施設など、地域の情報を掲載している。 令和5年度は新学習指導要領を踏まえて、本市の現状に合うように副読本を改訂する必要があり、この機会に、これからの学習者用デジタル教科書の導入の流れに向けて、1人1台端末を効果的に活用し、副読本のデジタル教科書化を推進する。 また、一般の大人もWebで閲覧が可能となるため、市内外の人に、本市の住みよさや歴史、文化を知ってもらい、住んでみたいと思ってもらえるよう、シティセールスのツールとして活用する。				対象	副読本		
					手段	デジタル社会科副読本を使用して、児童に本市の特色等を伝える。		
					意図	ふるさとへの愛着心を育む。		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					普通旅費	5千円	システム保守委託料	548千円
					システム開発委託料	9,155千円		
	合計					9,160千円		548千円
	財源内訳/割合				1/2	4,577千円		
							ふるさと支援基金	548千円
						4,583千円		
						9,160千円		548千円
人工数 人件費			0.10人	573千円	0.31人	1,806千円		
総経費				573千円		10,966千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	デジタル社会科副読本を使用して授業を行った学校数			(システム構築) 完了 100.00%	11校
2					
3					

成果	事業者が決定した後、事業者と教育委員会担当者、編集委員等で定例会を行い、情報共有や各コンテンツ機能やその実装について協議を重ねた。 令和6年4月から、公開し、授業で活用している。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和6年4月から、デジタル副読本を小学3、4年生の授業での活用しており、一人一台端末の学習効果の上昇が期待できる。また、市ホームページ上でも一般公開しており、シティセールスのツールとしての活用も期待できる。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

247

課・局・室・所(係)

学校教育課

学務・指導係

事務事業番号

226030404

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進		3	指導内容・方法の工夫		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	4	キャリア教育推進事業		2-(2)			政策的
	義務教育段階の子どもの社会的・職業的自立に向けて必要となる「基礎的・汎用的能力」を育てるとともに、夢を抱かせ、更に夢を志に進化させる教育の充実を図る。 主体的に自らの未来を切り開くとともに、郷土に誇りと愛着をもち、地域に貢献する子どもを育成するため、学校と家庭、大学、地域、産業界等が、連携・協力したキャリア教育を推進し、教育活動の一層の充実を図る。 本市出身者、または地元で活躍中(文化・スポーツ・起業家等様々な分野)の人材を招いて講演会等を開催する。					対象	小・中学校児童生徒		
						手段	職業体験・職業講話等の実施		
					意図	夢や志、つながりの実感を通じて郷土に誇りと愛着を持つ。			

事業期間	R3 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)		
支出内訳	講師謝礼	313千円	講師謝礼	264千円	講師謝礼	245千円	講師謝礼	600千円	
	消耗品費	34千円	消耗品費	20千円	消耗品費	10千円	消耗品費	30千円	
					通信運搬費	7千円	通信運搬費	30千円	
	合計	347千円		284千円		262千円		660千円	
財源内訳/割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	ふるさと支援基金	347千円	ふるさと支援基金	284千円	ふるさと支援基金	262千円	ふるさと支援基金	660千円
	一般財源								
合計	347千円		284千円		262千円		660千円		
人工数 人件費	0.12人	694千円	0.12人	688千円	0.06人	350千円			
総経費	1,041千円		972千円		612千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	全国学力調査において、「将来の夢や目標を持っている」という設問に対し、肯定的な回答をした児童の割合	成果	75%	75%	75%	75%
			84.8%	86.4%	84.1%	
			113.06%	115.2%	112.10%	
2	全国学力調査において、「将来の夢や目標を持っている」という設問に対し、肯定的な回答をした生徒の割合	成果	75%	75%	75%	75%
			71.8%	73.6%	73.1%	
			95.73%	98.13%	97.50%	
3	実施校数	活動	19校	18校	18校	18校
			13校	15校	17校	
			68.42%	83.33%	94.40%	

成果	小・中学校において、講師を招聘し、キャリア教育に関する講演等を実施した。特に、地元で活躍されている方々のお話から郷土の誇りや愛着を感じたり、自身の生き方を考えたりする機会となった。					
R7年度に向けた課題及び改善策	地元で活躍される講師人材の選定をするために、商工会議所等と地域の団体との連携を一層強めていくこと。また、小学校と中学校9年間で、系統的にキャリア教育を推進していくこと。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

248 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 226030405

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進		3	指導内容・方法の工夫	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
事業概要	4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	5	スマイル・サイエンス事業		2-(2)	理科大	政策的
	義務教育段階から科学に対する興味、関心を喚起し、科学体験に重点を置いた理数教育の充実を図る。 山口東京理科大学との教育連携協定の一つとして、大学キャンパスを会場とし科学体験・科学作品展を開催する。					対象	小・中学校児童生徒	
						手段	科学体験・科学作品展を行う。	
					意図	科学に対する興味・関心の喚起 様々なことにと挑戦する態度・創造的な能力を育成する。		

事業期間	R3 年度 ~ R10以降 年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)
支出内訳	賞賜金	24千円	賞賜金	20千円	賞賜金	18千円	会場設営委託料 391千円
	消耗品費	78千円	消耗品費	4千円	消耗品費	12千円	消耗品費 164千円
					印刷製本費		報償金 36千円
					会場設営委託料	120千円	賞賜金 26千円
					報奨金	19千円	
	合計	102千円	24千円		169千円	617千円	
財源内訳/割合	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他	ふるさと支援基金 102千円	ふるさと支援基金 24千円	ふるさと支援基金 169千円	ふるさと支援基金 617千円		
	一般財源						
合計	102千円	24千円	169千円	617千円			
人工数 人件費	0.11人 636千円	0.15人 860千円	0.20人 1,165千円				
総経費	738千円	884千円	1,334千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	参加者の中で理科に関心、興味が高まったと回答した割合 (ほんものの科学体験アンケート結果)	成果	80%	80%	80%	80%
			92.90%	91.6%	92.8%	
			116.13%	114.50%	116.00%	
2	参加者の中で理科に関心、興味が高まったと回答した割合 (科学作品展来場アンケート結果)	成果	80%	80%	80%	80%
			-	96.3%	98%	
			-	120.38%	122.50%	
3						

成果	山口東京理科大学の大学開放デーに、科学作品展審査及び一般公開を実施した。小学校応募数430点中126点・中学校応募作品数884点中46点の作品が展示され、その内、特に優れていると認められ、日本学生科学賞山口県審査に進むこととなった10点について、市長賞、教育長賞、理事長賞、学長賞を選出し表彰した。ほんものの科学の講座を体験した、児童生徒が理科に対する興味関心も高まり、応募作品も優れた内容が多かった。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和6年度において、中学校の体育祭の日程が遅くなったことから、雨天順延の場合、大学開放デーと日程が重なる可能性が出てきたため、理科大と協議を行っている。 今後も、さまざまな科学実験等を実際に見て・聴いて・体験する場を設ける等、山口東京理科大学との教育連携の強化を図る。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

249 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 226030407

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進		3	指導内容・方法の工夫		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	7	楽器購入事業						政策的
事業概要	市内の小・中学校及び埴生幼稚園の楽器が老朽化しているため、楽器を購入する。特に中学校では、吹奏楽部で使う楽器は高額なものが多く、壊れたり不足したりしても購入が難しい状況である。令和4年度から令和6年度の3年間で寄附金を活用して楽器を購入し、音楽教育の充実を図る。					対象	小・中学校児童生徒及び埴生幼稚園園児		
						手段	小・中学校及び埴生幼稚園に楽器を購入する。		
						意図	新しい楽器に触れ、音楽教育の充実を図る。		

事業期間	R4 年度	～	R6 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳			校用器具費	3,461千円	校用器具費	4,762千円	校用器具費	7,299千円
合計				3,461千円		4,762千円		7,299千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他			ふるさと支援基金	3,461千円	ふるさと支援基金(芳川基金)	4,762千円	ふるさと支援基金(芳川基金)
一般財源								
合計				3,461千円		4,762千円		7,299千円
人工数 人件費	0.00人		0.05人	287千円	0.04人	233千円		
総経費				3,748千円		4,995千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	楽器購入校	活動		17校	17校、1園	17校
				17校	17校、1園	
				100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	市内小中学校及び埴生幼稚園に楽器を購入し、音楽教育の充実を図った。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和6年度は市内小中学校に楽器を購入					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

250 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 226030408

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	26	学校教育の推進	3	指導内容・方法の工夫		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	8	図書購入事業				政策的
	市民から寄せていただいた寄附金を活用し、市内の小・中学校及び埴生幼稚園における学校図書館等の図書充実を図る。 多くの子どもたちが読書に魅力を感じるために、多様な興味に応えられる図書の充実を図れるよう、令和5年度から令和6年度の2年間をかけて、いろいろな種類の図書を整備し、意欲的な学習活動や読書活動を推進する。				対象	小・中学校児童生徒及び埴生幼稚園園児		
	【12月補正】 寄附金を、市内中学校3校及び松原分校の図書購入費に充てる。				手段	小・中学校及び埴生幼稚園に図書を購入する。		
				意図	学校図書館等の図書充実を図ることで、読書活動を推進する。			

事業期間	R5 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					図書購入費	1,244千円	図書購入費	1,250千円
	合計					1,244千円		1,250千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				ふるさと支援基金,教育費寄附金	1,244千円	ふるさと支援基金(大井氏基金)	1,250千円
一般財源								
合計						1,244千円		1,250千円
人工数 人件費					0.02人	117千円		
総経費						1,361千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	図書購入学校数 (埴生幼稚園含む)	活動		17校、1園	17校、1園
				17校、1園	
				100.00%	
2					
3					

成果	市内小中学校及び埴生幼稚園に図書を購入し、学校図書の充実を図った。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和6年度も、市内小中学校及び埴生幼稚園に図書を購入する。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

251 課・局・室・所(係) 中央・厚狭図書館 中央・厚狭図書館 事務事業番号 227011003

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	27	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
10	読書活動推進事業	3	子ども読書活動推進計画推進事業(臨時分)	2-(3)		知守	政策的	
事業概要	「子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を推進するための事業を行います。主な取組として、「絵本で子育て出前講座」等、切れ目のない読書活動を推進する。 令和4年度に策定した「子ども読書活動推進計画」の第四次計画を令和5年度から5年間計画どおり推進していく。				対象	概ね5歳以下の子ども及びその家族		
					手段	児童書の購入、絵本の読み聞かせなど		
					意図	全ての子どもがあらゆる機会及び場所において、自主的に読書活動を行うことができるように、環境づくりを行う		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳	講師謝礼	40千円		講師謝礼	90千円		講師謝礼	90千円	講師謝礼	120千円
	消耗品費	36千円		消耗品費	39千円		消耗品費	43千円	消耗品費	43千円
	委員報酬	24千円		委員報酬	24千円				委員報酬	24千円
	合計		100千円		153千円			133千円		187千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		100千円		153千円			133千円		187千円
合計		100千円		153千円			133千円		187千円	
人工数 人件費	0.16人	623千円		0.43人	2,059千円		0.43人	2,120千円		
総経費		723千円		2,212千円			2,253千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	「絵本で子育て出前講座」参加者数	活動	200人	200人	200人
			37人	249人	185人
			18.50%	124.50%	92.50%
2					
3					

成果	「子ども読書活動推進計画(第四次計画)」について、絵本で子育て出前講座等を実施し子どもの読書活動を推進した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	「子ども読書活動推進計画(第四次計画)」で策定した、活動計画を推進していく必要がある。令和7年度は、第四次計画の事業について達成状況を点検する。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

252 課・局・室・所(係) 中央・厚狭図書館 中央図書館 事務事業番号 227011105

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	27	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
11	図書館管理事業	5	電子書籍購入事業	2-(3)	デジタル化	知守	政策的	
事業概要	令和3年度から、コロナ禍における非接触型対応や、貸出機会の増加、図書館利用者層の拡充を目的に電子図書館システムを導入した。今後も、利用者を確保するため、電子書籍のコンテンツを更に充実する必要がある電子書籍を年次的に購入する。				対象	市内に在住・在勤・在学する者		
					手段	電子図書館を運営し利用者を確保する。		
					意図	来館しなくても、インターネットを通じて電子書籍の検索・貸出・返却・閲覧が可能であり、利用者の層を広げることが出来る。		

事業期間	R3 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)		
支出内訳	システム開発委託料	770千円	電子図書サービス利用料	6,999千円	電子図書サービス利用料	3,000千円	電子図書サービス利用料	3,000千円
	システム利用料	275千円						
	電子図書サービス利用料	9,897千円						
	合計	10,942千円		6,999千円		3,000千円		3,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	交付金(100%)	10,000千円	1/2	3,500千円	交付金	1,250千円	
	県支出金							
	地方債							
	その他					500千円		500千円
	一般財源		942千円		3,499千円	1,250千円		2,500千円
合計		10,942千円		6,999千円		3,000千円		3,000千円
人工数	人件費	0.92人	4,269千円	0.53人	2,700千円	0.63人	2,902千円	
総経費		15,211千円		9,699千円		5,902千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	電子図書館新規登録者数	成果	600人	600人	300人	300人
			355人	4,831人	698人	
			59.2%	805.2%	232.67%	
2	電子図書館貸出冊数	成果	3,000点	6,000点	6,000点	6,000点
			1,737点	3,256点	11,242点	
			57.9%	54.3%	187.37%	
3	電子図書購入点数	活動	2,520点	2,168点	649点	649点
			2,609点	1,170点	731点	
			103.53%	53.97%	112.63%	

成果	令和4年度末に学校教育課と連携し、市内のすべての小学生・中学生にIDとパスワードを配布し電子図書館の利用が出来るようになった。そのため令和5年度から市内の小中学校で電子図書館の利用が活発になり貸出冊数が飛躍的に増加した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	電子図書館の一層の利用促進を図る必要があるため、今後も積極的なPRを展開し電子図書館の利便性や魅力を伝える。また、来館困難者や小・中・高校生の利用に向けて、それぞれのニーズに合わせて幅広く魅力ある電子書籍を継続的に購入し、電子書籍を充実させる必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

253 課・局・室・所(係) 中央・厚狭図書館 中央図書館 事務事業番号 227011201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	27	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	12	図書館施設整備事業	1	中央図書館照明器具改修工事事業				政策的
	中央図書館は開館25年を経過し、蛍光灯器具に老朽化により故障するものが増加してきた。水銀灯については、製造が終了し器具の改修が必要である。全体的な照明設備の見直しが必要な時期となっており、これを機会にLED照明に変更し、消費電力の減少による二酸化炭素の削減等で環境への配慮、施設の維持管理が長期間可能となるよう努める。				対象	中央図書館内の照明器具		
					手段	館内照明器具の更新		
					意図	設備の長寿命化・環境にやさしい施設づくり		

事業期間	R5 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					設計委託料	490千円	工事請負費	73,964千円
							時間外勤務手当	50千円
合計						490千円		74,014千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債				90%	400千円	90%	66,500千円
	その他							
一般財源						90千円		7,514千円
合計						490千円		74,014千円
人工数 人件費	0.00人		0.02人	115千円	0.07人	408千円		
総経費				115千円		898千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	来館者数(中央図書館)	活動	75,000人	75,000人	75,000人
			88,418人	94,185人	99,968人
			117.89%	125.58%	133.29%
2					
3					

成果	設計業務を行った。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

254 課・局・室・所(係) 中央・厚狭図書館 中央図書館 事務事業番号 227011203

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	27	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	12	図書館施設整備事業	3	中央図書館椅子買替事業				政策的
	開館して25年経過し、椅子・ソファの劣化が目立ってきている。特に一般図書に設置されている椅子は足のゴムが取れており、椅子を引く際、床じゅうたんにこすれ、ダメージを与える要因になっている。また、ソファの張布は色がかなりあせており、利用者の中には長時間座る人もおり、衛生的にあまり良い状態ではない。				対象	中央図書館利用者用椅子		
					手段	館内の椅子等の買替及び張替		
					意図	椅子本体だけでなく、床じゅうたんの損傷を減らす。また、衛生的にすることで利用者が快適に過ごせるようにする。		

事業期間	R2以前	年度 ~	R5	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)			R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳	庁用器具費	708千円				庁用器具費	594千円		
	合計	708千円				594千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	ふるさと支援基金	708千円			ふるさと支援基金	594千円		
	一般財源	合計	708千円			594千円			
人工数 人件費	0.12人	684千円	0.00人			0.03人	175千円		
総経費		1,392千円					769千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	来館者数(中央図書館)	活動	75,000人	75,000人	75,000人
			88,418人	94,185人	99,968人
			117.89%	125.58%	133.29%
2					
3					

成果	予定通り備品(椅子・ソファ)を更新した					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	-
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

255 課・局・室・所(係) 学校教育課 学務・指導係 事務事業番号 228010102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	28	次世代の学校・地域創生の推進	1	学校・家庭・地域の連携の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	コミュニティ・スクール推進事業	2	スクールアドバイザー配置事業	2-(3)		交流	政策的	
事業概要	コミュニティ・スクールの機能である「学校支援、学校運営、地域貢献」の充実を図るため、学校運営協議会、地域協議会での助言・支援や各種マネジメントを行うスクールアドバイザーを配置する。				対象	コミュニティ・スクール		
					手段	学校運営協議会での助言・支援や各種マネジメントを行う。		
					意図	コミュニティ・スクールの充実		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)				
支出内訳	会計年度任用職員報酬等	1,753千円		会計年度任用職員報酬等	1,847千円	会計年度任用職員報酬等	2,380千円	会計年度任用職員報酬等	2,384千円	
	社会保険料等	306千円		社会保険料等	304千円	社会保険料等	348千円	社会保険料等	443千円	
	合計	2,059千円		合計	2,151千円	合計	2,728千円	合計	2,827千円	
	国庫支出金									
県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	2,059千円			2,151千円			2,728千円		2,827千円	
合計	2,059千円			2,151千円			2,728千円		2,827千円	
人工数	0.10人	580千円		0.10人	573千円		0.02人	117千円		
総経費	2,639千円			2,724千円			2,845千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	学校運営協議会、地域協議会への出席回数(各学校年2回)	活動	36回	36回	36回
			51回	74回	96回
			141.67%	205.56%	266.67%
2	コミュニティ・スクールだよりの発行回数(月平均2回)	活動	24回	24回	24回
			34回	36回	43回
			141.67%	150%	179.17%
3		活動			

成果	各校においては、コロナ禍の影響を受け、これまでの取組の見直しを図るとともに新たな学校・家庭・地域の連携・協働の在り方を構築する動きが生み出されているが、アドバイザーの支援によりその強化を図ることができた。また、小学6年生、中学3年生、教職員、学校運営協議会委員を対象とした意識調査結果を踏まえ、各校の取組に対する効果検証を行うとともに重点取組事項を明確に示唆することで学校運営協議会のさらなる活性化を図った。				
R7年度に向けた課題及び改善策	中学校区ごとに策定した「学校・地域連携カリキュラム」について、育成をめざす資質・能力を明確にさせ、地域との連携・協働による教育実践のさらなる充実に向けた指導・助言を行っていく。				
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

256 課・局・室・所(係) 社会教育課 人権教育係 事務事業番号 228010302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	28	次世代の学校・地域創生の推進	1	学校・家庭・地域の連携の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	家庭教育支援事業	2	家庭教育支援事業(中学校区分)	2-(3)		知守 交流	政策的
	「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かし、地域の実情に応じた家庭教育支援を行うため、各中学校区においての活動を推進する。小学校区ごとに行ってきたこれまでの活動を中学校区に広げ、小野田中学校区家庭教育支援チームを立ち上げ、子育てサロンや「親の学び」プログラムin小野田などを開催している。 学校との連携を生かして、幼稚園、保育所、小学校、中学校の保護者のつながりづくりを行い、家庭教育の充実に向け取り組んでいく。				対象	子育て中の保護者		
					手段	家庭教育支援チームによる支援		
					意図	子育て中の保護者の不安を解消するため		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
支出内訳	印刷製本費	17千円	印刷製本費	42千円	消耗品費	5千円	報償費	144千円		
			保険料	2千円	印刷製本費	44千円	消耗品費	55千円		
							保険料	41千円		
	合計	17千円		44千円		49千円		240千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金			28千円		32千円	2/3	159千円		
	地方債									
	その他									
	一般財源	一般財源	17千円	一般財源	16千円		17千円		81千円	
合計	17千円		44千円		49千円		240千円			
人工数 人件費	0.10人	578千円	0.10人	573千円	0.15人	874千円				
総経費		595千円		617千円		923千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	講座回数	活動	2回	2回	2回	2回
			0回	1回	2回	
				50.00%	100.00%	
2	子育て講座満足度	成果	90.00%以上	90.00%以上	90.00%以上	
			0.00%	90.00%	97%	
				90.00%	90.00%	
3	研修会の開催		1回	1回	1回	1回
			0回	1回	2回	
				100%	200.00%	

成果	令和5年度、小野田中学校で4月と10月に「親の学び」プログラムを開催した。4月の会では新入生保護者を主な対象とし、2小1中の保護者が情報交換や交流できる場を提供しました。10月には全校生徒の保護者を対象に、学校行事に併せて実施し、支援チームの周知と交流を行った。また、県・市合同研修会に家庭教育支援チーム員の参加を促すなど、研修機会も提供した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和5年度は、「親の学び」プログラムの開催により、滑らかな小中連携に心がけた。今後は、子育てサロンなど、継続的に行うことのできる活動を取り入れ、自走できるように支援していきたいと考えている。また、令和6年度には殖生中学校区でも家庭教育支援チームを立ち上げ、事業を展開していくため、支援チーム員と協議しながら持続可能な活動となるようしっかりと準備を進めていく必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

257

課・局・室・所(係)

企画課

事務事業番号

229010103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	29	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	公立大学法人山口東京理科大学運営事業	3	公立大学法人山口東京理科大学運営費交付金事業				行政内部管理	
事業概要	地方独立行政法人法第42条に基づき、山陽小野田市が設立した公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の業務の財源に充てるために、運営費交付金を交付する。				対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学		
					手段	運営費交付金を交付する。		
					意図	公立大学法人の業務遂行に必要な財源を措置する。		

事業期間	R1以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
	運営費交付金(通常分)	1,641,890千円	運営費交付金	1,620,304千円	運営費交付金	1,743,628千円	運営費交付金	2,041,666千円		
	運営費交付金(寄附金充当分)	4,050千円								
	合計	1,645,940千円		1,620,304千円		1,743,628千円		2,041,666千円		
	国庫支出金									
県支出金										
地方債										
その他	公立大学法人運営基金繰入金	67,130千円			公立大学法人運営基金繰入金	2,000千円				
一般財源		1,578,810千円		1,620,304千円		1,741,628千円		2,041,666千円		
合計		1,645,940千円		1,620,304千円		1,743,628千円		2,041,666千円		
人工数	人件費	0.30人	1,735千円	0.22人	1,261千円	0.35人	2,039千円			
総経費		1,647,675千円		1,621,565千円		1,745,667千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	工学部の学生数(入学定員:300人×4年=収容定員1,200人)	800人	800人	860人	960人
		853人	860人	922人	
		106.6%	107.5%	107.21%	
2	薬学部の学生数(入学定員120人×6年=収容定員720人)	480人	600人	720人	720人
		487人	597人	714人	
		101.5%	99.5%	99.17%	
3	大学院の学生数(工学研究科:収容定員39人、薬学研究科:収容定員20名)	39人	39人	39人	44人
		40人	42人	51人	
		102.6%	107.7%	130.77%	

成果	薬学部の学生数は、目標人数を下回ったものの、大学全体では、目標人数を上回っており、運営費交付金等の市からの財源措置と授業料収入等の公立大学法人の自主財源により、順調な大学運営が行われている。				
R7年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

258

課・局・室・所(係)

企画課

事務事業番号

229010104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	29	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	公立大学法人山口東京理科大学運営事業	4	公立大学法人山口東京理科大学運営基金積立事業				行政内部管理	
事業概要	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の健全な運営等を支援するため、山陽小野田市立公立大学法人運営基金条例に基づき基金を設置し、計画的に積み立てを行う。				対象	公立大学法人運営基金		
					手段	基金積立		
					意図	将来の大学の施設整備等のため、計画的に基金を積み立て、健全な運営を保つ。		

事業期間	R1以前	年度 ~	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)		
	基金積立金	1,000千円	基金積立金	67,789千円	基金積立金	135,125千円	公立大学法人運営基金積立金	92,026千円	
	合計	1,000千円		67,789千円		135,125千円		92,026千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	寄附金	1,000千円	公立大学法人納付金、寄附金	1,050千円				
	一般財源		千円	66,739千円		135,125千円		92,026千円	
合計	1,000千円		67,789千円		135,125千円		92,026千円		
人工数	0.15人	868千円	0.12人	688千円	0.15人	874千円			
総経費		1,868千円		68,477千円		135,999千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6	
1	山陽小野田市公立大学法人運営基金の年度末残高	成果	668,825千円	667,940千円	825,944千円	866,402千円
			716,819千円	746,962千円	880,094千円	
			107.18%	111.83%	106.56%	
2						
3						

成果	公立大学法人運営基金は、令和5年度当初に計画した基金残高を確保した。				
R7年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

259

課・局・室・所(係)

企画課

事務事業番号

229010201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	29	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実		
事業概要	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	2	公立大学法人山口東京理科大学施設整備事業	1	公立大学法人山口東京理科大学施設整備事業				政策的
事業概要	平成28年4月に公立化した山陽小野田市立山口東京理科大学の教育研究活動に必要な校舎、研究機器類等の施設、設備の整備・充実を行う。				対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学		
					手段	大学校舎及び設備等の整備・充実		
					意図	地方創生の推進に貢献する「知(地)の拠点」の役割を果たす高等教育機関としての機能を強化する。		

事業期間	R1以前	年度 ~	R6	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)			R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳	職員手当等	188千円	消耗品費	2千円	燃料費	10千円	施設整備補助金	342,443千円	
	需用費	348千円	燃料費	10千円	保険料	65千円	普通旅費	250千円	
	役務費	269千円	修繕料	2,970千円	機械器具借上料	172千円	時間外勤務手当	200千円	
	委託料	718千円	保険料	275千円	施設整備補助金	134,717千円	機械器具借上料	172千円	
	使用料及び賃借料	183千円	機械器具借上料	172千円	テレビ共同受信施設組合負担金	94千円	テレビ共同受信施設組合負担金	94千円	
	工事請負費	299千円	施設整備補助金	204,281千円			保険料	66千円	
	その他	99千円	テレビ共同受信施設組合負担金	94千円			その他	34千円	
	合計	2,104千円		207,804千円			135,058千円	343,259千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債		75%	153,200千円	75%	101,000千円	75%	256,800千円	
	その他		公立大学法人運営基金	37,653千円					
	一般財源	2,104千円		16,951千円		34,058千円		86,459千円	
合計	2,104千円		207,804千円		135,058千円		343,259千円		
人工数 人件費	1.85人	10,699千円	0.50人	2,866千円	0.50人	2,913千円			
総経費		12,803千円		210,670千円		137,971千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	グラウンド整備への補助金交付	活動	交付		
			交付		
			100.00%		
2	駐車場・テニスコート整備への補助金交付	活動	交付(工事分)	交付(設計・工事分)	交付(工事分)
			交付(工事分)	交付(設計・工事分)	
			100.00%	100.00%	
3					

成果	公立大学法人が令和4年度から実施している駐車場・テニスコートの整備は、令和5年6月に設計が完了し、工事に着工した。市は当該整備に要する経費について、公立大学法人に施設整備費補助金を交付した。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

260 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化会館 事務事業番号 230010403

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	1	芸術文化を育む環境づくり		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
4	文化会館維持整備事業	3	文化会館改修工事事業	3-(2)			政策的	
事業概要	平成6年6月の開館以来、30年が経過し、各所に老朽化が見受けられるため、令和4年度に実施した老朽化調査及び中長期整備計画策定業務報告書を参考に令和7年度から順次修繕を行う予定である。 なお、館内各所の雨漏り解消による屋上防水工事(全5期)については、引き続き年次的に実施する。				対象	文化会館		
					手段	老朽化調査、整備計画の策定		
					意図	施設や機器の長寿命化を図るとともに来館者に文化会館を安心安全、快適に利用してもらう		

事業期間	R4 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳			防水工事請負費(1期)	16,632千円	防水工事請負費(2期)	24,046千円	防水工事請負費(3期)	30,545千円
			委託料(アスベスト調査)	95千円	調査委託料	34,100千円		
			委託料(老朽化調査・整備計画)	150千円				
	合計				16,877千円		58,146千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債		90%	14,900千円	90%	21,600千円	90%	27,400千円
	その他			まちづくり魅力基金		まちづくり魅力基金	34,100千円	
	一般財源			1,977千円		2,446千円		3,145千円
合計				16,877千円		58,146千円		30,545千円
人工数 人件費			0.92人	5,274千円	0.86人	5,010千円		
総経費				22,151千円		63,156千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	改修工事に向けた業務委託等	活動		老朽化調査等 次年度繰越 0%	老朽化調査等 完了 100.00%	
2	屋上防水工事(全5期)	活動		1期 完了 100.00%	2期 完了 100.00%	3期
3						

成果	ロビー・玄関屋上部にあたる防水シートを更新した結果、雨漏りが解消された。					
R7年度に向けた課題及び改善策	屋上防水シートの更新については、引き続き実施する。 老朽化調査及び中長期整備計画策定業務報告書を参考に改修範囲を見定め、令和7年度から順次修繕等が行えるよう準備する。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項	老朽化調査及び中長期整備計画については、R4年度から繰り越した34,100千円の繰越明許費の執行が令和5年度中に完了した。					

R5年度 事務事業評価シート

261 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230010501

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	1	芸術文化を育む環境づくり		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	世代別市民文化度育成事業	1	(主催)アウトリーチ事業(臨時)	3-(2)			政策的
	普段コンサートホールに行くことが難しい人にも、身近な場所で誰もが参加しやすい文化芸術の鑑賞・体験機会が生まれるよう、地域交流センターや学校、保育所などの福祉・教育施設や民間施設等で実施する。市民一人一人の文化習慣を高め、地域の文化力向上を目指すためにも、リスペクトの対象となり得るレベルのものを企画・提供していく。				対象	市民ほか		
					手段	芸術鑑賞機会の提供		
					意図	芸術文化に親しみ、創造性を豊かにする環境づくり及び生きがいがいづくり		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳		報償費		報償費	274千円	報償費	167千円	報償金	400千円	
		食糧費		委託料	100千円	食糧費	6千円	音響照明業務委託料	100千円	
		消耗品費		消耗品費	12千円	消耗品費	27千円	消耗品費	60千円	
		会場使用料		使用料	2千円	著作権使用料	5千円	会場借上料	30千円	
						保険料	3千円	食糧費	10千円	
						音響照明業卵委託料	159千円			
合計					388千円		367千円		600千円	
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他			ふるさと支援基金	388千円	ふるさと支援基金	367千円	ふるさと支援基金	600千円	
	一般財源									
合計					388千円		367千円		600千円	
人工数 人件費	0.30人	1,735千円		0.29人	1,452千円		0.16人	891千円		
総経費		1,735千円			1,840千円			1,258千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	アウトリーチ実施回数	活動	2回	2回	2回	2回
			中止	2回	2回	
			-	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	普段コンサートホールに行くことが難しい人にも質の高い芸術文化に触れてもらうため、身近な施設である商業施設や、観光施設で実施することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	市民がより身近に芸術に触れることができる場所を開拓する。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

262 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230010502

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進		1	芸術文化を育む環境づくり		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	世代別市民文化度育成事業	2	(主催)子ども文化ふれあい事業		3-(2)			政策的
	子ども達に多彩なアーティストによる優れた公演を間近に体験させることにより、豊かな感情や情緒を育み、創造的で個性的な価値観を養うため、不二輸送機ホールや幼・保育園で芸術文化鑑賞会を実施する。 1. 小学生対象(市内全6年児童) 令和5年度以降は不二輸送機ホールで市内全6年生を一度に集めて夏休み前に実施する。 2. 幼・保育園児対象(2回) 幼児期に音楽に触れる経験が、音を聴く力、言語能力等に与える効果を期待し、未就学児を対象に実施する。					対象	市内全小学6年生及び未就学児		
					手段	小学校及び幼保育園で開催する			
					意図	子どもたちに生の鑑賞機会を提供することで感動を体感してもらう			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)		
支出内訳	報償費	493千円		報償費	150千円	報償費	223千円	公演業務委託料	1,980千円	
	消耗品費	4千円		公演業務委託料	700千円	保険料	12千円	送迎業務委託料	1,099千円	
	食糧費	13千円		著作権使用料	3千円	著作権使用料 ほか	15千円	舞台業務委託料	50千円	
	手数料(調律)	121千円		自動車借上料	11千円	手数料(調律)	15千円	手数料	42千円	
	公演業務委託料	1,150千円		食糧費	13千円	公演業務委託料	760千円	著作権等使用料	20千円	
	自動車借上料	57千円		自動車借上料	25千円	送迎業務委託料	528千円	食糧費	15千円	
	著作権使用料	2千円				舞台業務委託料	110千円	その他	30千円	
	合計	1,840千円			902千円		1,663千円		3,236千円	
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他			ふるさと支援基金	902千円	ふるさと支援基金	1,663千円	入場料(300人)	650千円	
	一般財源	1,840千円							2,586千円	
合計	1,840千円			902千円		1,663千円		3,236千円		
人工数 人件費	0.75人	3,314千円		0.29人	1,452千円	0.22人	1,241千円			
総経費		5,154千円			2,354千円		2,904千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	公演実施回数	活動	14回	6回	3回	3回
			14回	6回	5回	
			100.00%	100.00%	167.00%	
2	入場者数	成果	600人	400人	800人	500人
			1,258人	485人	861人	
			209.67%	121.25%	107.60%	
3						

成果	当初の予定通り、市内全小学6年生及び幼・保育園(6園4回)を実施し、間近で芸術に触れる機会を与えることができた。一流の演奏を鑑賞することは、児童や園児にとって貴重な機会となった。					
R7年度に向けた課題及び改善策	優れた芸術文化に触れる機会であるとともに、芸術鑑賞のマナーを学ぶ機会にもなっており、小学校からも好評価のため継続開催していきたい。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

263 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230010705

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	1	芸術文化を育む環境づくり		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	7	きららガラス未来館整備事業	5	きららガラス未来館管理運営事業(臨時)			交流	政策的
	本市の特色の一つである「ガラス文化」の推進において必要不可欠な施設であり、ガラス体験学習の場として市内外から多くの人に来館していただけるよう、適切な施設の管理運営を図る。 現在の指定管理期間が令和5年度までで終了するため、次回指定管理に向けての準備期間として、選定委員会の委員報酬が必要となる。				対象	きららガラス未来館		
					手段	指定管理者(小野田ガラス(株))との連携による効率的な運営、修繕		
					意図	施設の維持管理、利用者の増加		

事業期間	R5 年度	～	R5 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					報償費(委員報酬)	8千円		
	合計					8千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						8千円	
合計						8千円		
人工数 人件費					-			
総経費						8千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	指定管理選定委員会	活動			2回 2回 100.00%	
2						
3						

成果	令和6年度からの指定管理に向けて、選定委員会においての委員の意見を反映し、指定管理者を決定することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	-
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

264 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230020201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	ガラス文化推進事業	1	現代ガラス展開催事業	3-(2)		交流	政策的
	本市の特色の一つであるガラス文化を推進するため、平成13年度から3年に1度開催している「現代ガラス展in山陽小野田」の第9回展を開催する。ガラス作家・故竹内傳治の若手作家を育成したいという思いから、45歳という年齢制限を設け、今では全国的な知名度を誇る若手登竜門的コンベンションとなっている。第9回展は、これまでの開催内容に工夫を凝らしながら、ガラス文化の魅力をさらに引き出し、交流人口の増加を図るほか、第7回展にも開催した県立萩美術館・浦上記念館や、第8回展に引き続き、東京・上野の森美術館を会場とした特別作品展を開催することにより、市内外へのガラス文化発信に加えて、本市の魅力が首都圏で広く発信する。 【補正理由】 現代ガラス展において、物価高騰に伴い作品搬送業務委託料、会場設営業務委託料等が、本展1,440,126円、萩展684,600円、東京展456,480円の増額となるため2,500,000円の補正を行う。				対象	全市民及びガラス文化に興味のある人		
					手段	現代ガラス展の開催		
					意図	ガラス文化の推進		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳						現代ガラス展実行委員会負担金	3,000千円	現代ガラス展実行委員会負担金	8,600千円	
								【補正】現代ガラス展実行委員会負担金	2,403千円	
合計							3,000千円		11,003千円	
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他					ふるさと支援基金	3,000千円	ふるさと支援基金	11,003千円	
一般財源										
合計							3,000千円		11,003千円	
人工数 人件費	0.77人	4,077千円		1.15人	4,905千円		2.35人	10,632千円		
総経費		4,077千円			7,905千円			21,635千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	入場者数 (本展・萩展・東京展)	成果	-	-	18,500人	
			-	-	19,416人	
			-	-	104.90%	
2	ガラス制作体験者数 ・きららガラス未来館講座・体験者数、自主事業参加者数 ・市主催ガラス体験教室参加者数	成果	3,000人	3,000人	3,000人	
			4,832人	6,847人	5,244人	
			161.07%	228.23%	174.80%	
3						

成果	本展開催(50日間)に加え、山口県立萩美術館・浦上記念館(79日間)及び東京・上野の森美術館(5日間)の特別作品展を開催し、ガラス文化の発信とあわせて、本市の魅力が首都圏で広く発信することができた。				
R7年度に向けた課題及び改善策	第9回展は補正したため、第10回展の予算編成について、物価高騰などを鑑み慎重に検討していきたい。				
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

265 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230020202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	ガラス文化推進事業	2	ガラス文化推進事業	3-(2)			政策的
	・出張ガラス体験教室の開催 市内外の行事等で開催し、多くの人が本市ガラス文化に興味を持つきっかけとするとともに、きららガラス未来館をPRし来館を促すことで、本市特有のガラス文化の推進を図る。 ・市所有ガラス作品の定期的な展示替え 公共施設等に展示しているガラス作品の定期的な展示替えを行い、市民が様々なガラス作品を鑑賞する機会を提供する。				対象	全市民及びガラス文化に興味のある人		
					手段	市内外できららガラス未来館によるガラス作品制作の出張体験教室を開催する		
					意図	ガラス文化の推進		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
支出内訳	講師謝礼	20千円	講師謝礼	183千円	講師謝礼	222千円	講師謝礼	291千円		
	消耗品費	3千円	旅費	33千円	旅費	38千円	普通旅費	39千円		
	出展負担金	7千円					消耗品費	37千円		
							通信運搬費	9千円		
							ガラス文化PR出展負担金	6千円		
合計	30千円		216千円		260千円		382千円			
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	30千円	ふるさと支援基金	216千円	ふるさと支援基金	260千円	ふるさと支援基金	382千円	
	一般財源									
合計	30千円		216千円		260千円		382千円			
人工数	0.66人	3,135千円	0.43人	1,621千円	0.19人	781千円				
総経費	3,165千円		1,837千円		1,041千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	出張体験教室の開催回数	活動	12回	12回	12回	12回
			1回	5回	5回	
			8.33%	41.67%	41.67%	
2	出張体験教室の参加者人数	活動	240人	240人	240人	240人
			18人	142人	110人	
			7.50%	59.17%	45.83%	
3	保有ガラス作品の展示替え施設 ガラス作品の貸出件数	活動	-	10施設・3件	10施設・3件	
			-	-	10施設・4件	
			-	-	133.33%	

成果	現代ガラス展本展のおのだサンパークや萩展の山口県立萩美術館・浦上記念館でも実施でき、県内においてもガラス文化の推進を図ることができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	講師の対応人数が限られており、出張体験教室を頻繁に行うことが難しい状況であり、実施回数や体験者数を増やしていくということが困難である。今後、人員確保等ガラス未来館との調整が必要となる。					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

266 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230020203

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	ガラス文化推進事業	3	ガラスアート作品貸出し支援事業	3-(2)			政策的	
事業概要	本市のガラス文化を市内外に発信する取組の一つとして、令和4年8月から市が所蔵している竹内傳治先生のガラスアート作品13点と現代ガラス展受賞作品27点の計40点を、市内に事務所又は活動の拠点がある団体等に無料で貸し出している。しかしながら、貸出可能なアクリル製展示ケースを9台しか保有しておらず、ガラスアート作品貸出事業を推進するためには、高額(1台77万円～)ではあるが展示台の購入が必須となっている。				対象	市内に事務所又は活動の拠点がある団体等		
					手段	市所蔵のガラスアート作品等を無料で貸し出し		
					意図	本市のガラス文化の発信、ガラスアートのまちとしての認知度向上		

事業期間	R4 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)			R6(予算額)	
支出内訳					委託料	33千円	委託料	50千円
合計						33千円		50千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						33千円	50千円
合計						33千円		50千円
人工数 人件費					0.10人	379千円		
総経費						412千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	チラシの配布(両商工会議所の会報に同封)	活動		1,600部	1,600部
				-	
				-	
2	貸出依頼があったガラスアート作品数(全39点)	成果		9点	20点
				5点	
				55.56%	
3	ガラスアート作品の展示を行った新規事業者数	成果		9社	10社
				4社	
				44.44%	

成果	市内4箇所の企業にガラス作品を設置し、インスタグラムに投稿しPRすることで、貸出事業を推進することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	貸出可能なアクリル製展示ケースを9台しか保有しておらず、ガラスアート作品貸出事業を推進するためには、高額な展示台の購入が必要であるが、展示台がなくても貸出可能にする方保を検討していく必要がある。					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

267

課・局・室・所(係)

文化スポーツ推進課

文化振興係

事務事業番号

230020205

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
2	ガラス文化推進事業	5	CLASS GLASS推進事業	3-(2)			政策的
事業概要	本市では、公設ガラス工房「きららガラス未来館」の活用や全国規模の現代ガラス展を開催するなど、ガラスアートによるまちづくりに取り組んでいる。当該施設は、指定管理により小野田ガラス㈱が運営しており、ガラス造成作家が、自身のガラス作家活動をしながら体験学習の指導等に従事している。故に、小野田ガラス㈱と協力し、ガラスアート作品をブランド化し、販売を行うことにより、ガラスアートのまちの取組との相乗効果により、市の知名度向上に加え、ふるさと納税の増加等を図る。なお、令和5年度からは、当該事業の主たる部分を小野田ガラス㈱に委託し、ブランドの運営・発展を推進していくこととしている。				対象	市内で制作されるガラス作品	
					手段	ガラス作品をブランド化し、そのブランドの運営	
					意図	市の知名度の向上及びふるさと納税の増加等を図り、「ガラスアートによるまちづくり」を推進していく	

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳	ブランド化推進事業委託料	20,000千円		ブランド化推進事業委託料	18,000千円	ブランド運営委託料	3,975千円	ブランド運営委託料	2,375千円	
	報償金	84千円		報償金	46千円	システム導入委託料	1,000千円	報償金	40千円	
	商標登録委託料	252千円		商標登録委託料	439千円					
	印刷製本費	69千円		デザイン委託料	911千円					
				運送等業務委託料	220千円					
合計	20,405千円			19,616千円			4,975千円		2,415千円	
財源内訳/割合	国庫支出金	1/2	10,017千円	1/2	9,023千円					
	県支出金									
	地方債									
	その他					商標権使用料・まちづくり基金	4,975千円	商標権使用料・まちづくり基金	2,415千円	
	一般財源		10,388千円		10,593千円					
合計	20,405千円			19,616千円			4,975千円		2,415千円	
人工数	人件費	1.00人	5,783千円	0.51人	2,924千円	0.15人	874千円			
総経費	26,188千円			22,540千円			5,849千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	きららガラス未来館の来客数	活動	-	-	-	
			13482人	5629人	15,507人	
2	ブランド化したガラス商品の販売額(ムードマーク及びECサイト)	成果	-	-	-	
			134,280円	123,700円	286,100円	
3			-	-	-	

成果	第9回現代ガラス展では、本展及び萩展での展示・販売、東京展での展示を行い、県内外へブランドのPRを行うことができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	今年度中にCLASS GLASSの定義を明確に定め、PR及び販路拡大に向けて都会での展示会を企画する。					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

268 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230020301

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
3	文化によるまちづくり推進事業	1	かるたによるまちづくり推進事業	3-(2)		交流	政策的	
事業概要	市内公共施設や小学校の授業の一環としてかるた教室を開催することで、市内全域への競技かるたの普及を進める。 また、教室参加者や競技者を対象としたかるた大会を開催することにより、競技者のさらなる増加を図ることで、「かるたのまち山陽小野田」の魅力を発信し、交流人口の拡大を図る等、かるたによるまちづくりを展開する。				対象	本市及び競技かるたに興味のある人		
					手段	かるた教室等の開催		
					意図	競技かるたの普及、かるたを通じた交流人口の拡大及びかるたによるまちづくりの展開		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)				
支出内訳	かるた教室委託料(15千×12)	180千円	かるた教室事業委託料	455千円	かるた教室事業委託料	470千円	かるた教室事業委託料	605千円		
			消耗品	63千円	消耗品費	20千円	消耗品費	10千円		
			保険料	3千円	賞賜金	6千円	賞賜金	10千円		
					保険料	2千円	保険料	10千円		
	合計	180千円		521千円		498千円		635千円		
財源内訳/割合	国庫支出金	地方創生1/2	90千円							
	県支出金									
	地方債									
	その他			ふるさと支援基金	521千円	ふるさと支援基金	498千円	ふるさと支援基金	635千円	
	一般財源	90千円								
合計	180千円		521千円		498千円		635千円			
人工数	0.78人	3,488千円	0.80人	3,321千円	0.35人	1,835千円				
総経費		3,668千円		3,842千円		2,333千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	出前かるた教室の開催 (参加者数)	活動	12回	15回	22回	22回
			12回(9校430人)	26回(1,080人)	29回(1,208人)	
			100.00%	173.33%	131.82%	
2	一般向けかるた教室の開催 (参加者数)	活動	4回	3回	6回	6回
			中止	1回(9人)	2回	
			-	33.33%	33.33%	
3	かるた大会の開催 (参加者数)	活動	1回	1回	1回	1回
			中止	1回(14人)	1回	
			-	100.00%	100.00%	

成果	小中学生を対象としたかるた出前教室を市内全小・中学17校で21回開催し、1,200名を超える児童・生徒に競技かるたに触れる機会を提供することができた。また、昨年度に続き、幼児かるた出前教室を9園で8回実施し、200名弱の幼児にかるたに触れる機会を提供することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	山口東京理科大学の競技かるた部との交流を深めるなど、かるたを通じた交流の輪をさらに広い世代に広げていきたい。競技かるたに継続して取り組む人材の育成、本市かるた文化を若い世代にいかに関承するかが課題である。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

269 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 230020302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	文化によるまちづくり推進事業	2	芸術文化アドバイザー設置事業				政策的
	芸術文化活動の活性化及び本市の特色を活かした芸術文化によるまちづくりの推進を目的として、専門的な立場からの助言を得るため、芸術文化アドバイザーを設置する。ガラス、かるた競技、音楽のアドバイザーから各種文化事業開催にあたり助言を得ることで、事業展開を充実させる。(各分野2名/合計6名)				対象	本市文化振興行政		
					手段	専門的な立場からの助言を得る		
				意図	本市の魅力を活かした文化振興によるまちづくりの推進			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)				
支出内訳	報償金	90千円	報償費	100千円	報償費	120千円	報償金	200千円		
	合計	90千円		100千円		120千円		200千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他			ふるさと支援基金	100千円	ふるさと支援基金	120千円	ふるさと支援基金	200千円	
	一般財源	90千円								
合計	90千円		100千円		120千円		200千円			
人工数 人件費	-		0.06人	344千円	0.01人	58千円				
総経費	90千円		444千円		178千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	芸術及び文化によるまちづくりのための専門的な立場からの助言	活動	36回	36回	36回	36回
			9回	10回	12回	
			25.0%	27.7%	33.33%	
2						
3						

成果	専門的な見地から助言を得ることで、本市の魅力を活かした文化事業を実施することができた。				
R7年度に向けた課題及び改善策	引き続きアドバイザーの意見を有効に活用し、事業に反映していきたい。活用頻度を増やし、コストの中で最大限の効果が得られるよう、制度の充実を図りたい。				
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R5年度 事務事業評価シート

270 課・局・室・所(係) 社会教育課 文化財係 事務事業番号 230030201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	3	文化財の保護・活用		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	文化財保存整備事業	1	周防灘干拓遺跡高泊開作浜五挺唐樋保存修復事業				政策的
	国史跡浜五挺唐樋は、近世の周防灘における萩藩による開作(干拓)の実態を示す貴重な遺跡である。また切石による精緻な構造は、当時の土木技術の到達点がよく示されている。山陽小野田市のまちづくりの原点を歴史的背景から学べるこの史跡を、計画的かつ適正に保存管理していく必要がある。今後は切石の石組も含めた保存修復についても、保存活用計画を策定したうえで、計画に沿った事業を進める。				対象	国指定文化財		
					手段	適切な保存管理、測量調査、図面作成、保存活用計画の策定		
					意図	文化財保護、観光資源の価値向上を図るため		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
支出内訳	工事請負費	2,768千円	測量業務委託料	1,845千円	計画策定委託料	2,797千円				
	修繕料	2,026千円	策定業務委託料	508千円	報償費	20千円				
			報償費	20千円	普通旅費	131千円				
			旅費	166千円						
	合計	4,794千円		2,539千円		2,948千円				
財源内訳/割合	国庫支出金		50%	1,271千円	50%	1,472千円				
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金繰入金	4,794千円							
	一般財源			1,268千円		1,476千円				
合計	4,794千円		2,539千円		2,948千円					
人工数	0.30人	1,735千円	0.30人	1,720千円	0.40人	2,330千円				
総経費		6,529千円		4,259千円		5,278千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	浚渫工事、ロクロ・招き戸補修工事	活動	工事一式			
			工事一式			
			100.00%			
2	測量調査、図面作成	活動	一式			
			一式			
			100.00%			
3	保存活用計画策定	成果	計画策定用資料準備		一式	
			計画策定用資料準備		一式	
			100.00%		100.00%	

成果	令和4年度から2年にわたり資料収集や古文書等の調査、策定委員会等で博識経験者からご意見をいただき、周防灘干拓遺跡浜五挺唐樋保存活用計画を策定することができた。この保存活用計画により、史跡を適切に保存管理を行うための取り扱い基準やその価値を伝えていくための活用や整備の方針、今後の運営・体制について定めることができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和4年度、令和5年度に策定した周防灘干拓遺跡浜五挺唐樋保存活用計画にそって、今後は計画的に予算計上を行い保存管理を行っていく。令和7年度は、浜五挺唐樋の保存、活用、整備に向けた情報収集を行う。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

271

課・局・室・所(係)

社会教育課

文化財係

事務事業番号

230030204

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進		3	文化財の保護・活用		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	文化財保存整備事業	4	且の登り窯保存事業					政策的
	市指定文化財である且の登り窯は、本体の老朽化が著しく、煙突が破損している状態である。また覆屋が強風によりスレートの一部が破損・落下し、また老朽化により木製の柱の一部が腐食している。このまま放置すると台風等により周辺住民に危険をもたらす、また指定文化財にも被害を与える恐れがあるため、令和2年度に緊急的に修繕を実施し、今後覆屋を数年に分けて計画的に修理をする。登り窯については、有識者の意見も聞きながら、今後の保存について検討する。						対象	文化財	
						手段	窯・覆屋の修繕		
						意図	適正な保存管理に努めるため		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般		
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)					
支出内訳	修繕料		497千円	修繕料		491千円	修繕料		485千円	修繕料		500千円
	合計		497千円		491千円		485千円		500千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金											
	県支出金											
	地方債											
	その他											
	一般財源		497千円		491千円		485千円		500千円			
合計		497千円		491千円		485千円		500千円				
人工数 人件費	0.03人	174千円	0.05人	287千円	0.05人	291千円						
総経費		671千円		778千円		776千円						

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	覆屋の修理	活動	一部修理	一部修理	一部修理	一部修理
			完了	完了	完了	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	覆屋をブロックに分け順次修繕を行っている。また、毎年覆屋を確認し、緊急を要する箇所から修繕を行うことにより、近隣住民や見学者への安全に配慮しつつ、史跡を雨風から守り窯本体の適切な保存管理ができています。					
R7年度に向けた課題及び改善策	覆屋修繕については令和8年度に終了する予定だが、台風などの影響で予定外の覆屋修繕を行っており、修繕計画が遅れ気味になっている。また、窯本体についての劣化も見られるため、どのように保存を進めるべきかの検討が必要になる。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

272

課・局・室・所(係)

社会教育課

文化財係

事務事業番号

230030206

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進		3	文化財の保護・活用		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	文化財保存整備事業	6	山下記念館 解体工事					政策的	
事業概要	昭和8年に厚狭図書館として完成し、その後図書館の移転に伴い、民俗資料保存館に転用された。建物自体にクラックが入り、耐震化もされておらず、安全確保ができていない。今後も利活用は困難な状況であるため、建物を解体する。					対象	山下記念館		
	令和5年度は境界確定業務及び事前家屋調査を行い、その後山下記念館解体工事を行った。					手段	建物の解体		
	【R6.3補正】境界確定業務及び事前家屋調査業務、山下記念館解体工事の、入札減に伴う不用額の補正を行った。					意図	周辺住宅の安全確保を図るため		

事業期間	R4 年度	～	R6 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳			設計委託料	2,992千円	測量調査委託料	1,320千円	家屋調査業務委託料	4,850千円
					家屋調査業務委託料	4,488千円		
					登記業務委託料	80千円		
					工事請負費	6,438千円		
	合計				2,992千円		12,326千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債			山下記念館除却事業債	2,992千円	山下記念館除却事業債	5,600千円	
	その他							
	一般財源						6,726千円	4,850千円
合計				2,992千円		12,326千円		4,850千円
人工数 人件費	0.01人		58千円	0.10人	573千円	0.20人	1,748千円	
総経費			58千円		3,565千円		14,074千円	

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	建物の解体	成果		実施設計 完了 100.00%	解体 完了 100.00%	
2						
3						

成果	山下記念館解体工事に向け境界確定業務委託及び事前家屋調査を順次行い、山下記念館の解体工事を無事終えることができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項	令和6年度には、山下記念館解体工事事後家屋調査を行い完了となる。					

R5年度 事務事業評価シート

273 課・局・室・所(係) 社会教育課 文化財係 事務事業番号 230030209

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	3	文化財の保護・活用		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	文化財保存整備事業	9	出土品鉄製品保存処理事業				政策的	
事業概要	県指定文化財出土品などの鉄製品の表面に錆が出て一部剥離しており、保存状態が著しく悪化している。本市の貴重な考古資料を後世に継承していくため、再度保存処理をする。令和5年度は県指定文化財である妙徳寺山古墳出土品の刀子の保存処理業務を行った。				対象	古墳等出土品の鉄製品		
					手段	専門業者に業務委託し、保存処理をする		
					意図	考古資料を適正に管理するため		

事業期間	R4 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳			文化財保存処理業務委託料	330千円	委託料	107千円		
	合計			330千円		107千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源				330千円		107千円		
合計				330千円		107千円		
人工数 人件費	0.00人		0.05人	287千円	0.05人	291千円		
総経費				617千円		398千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	物見山経塚出土鉄刀の保存処理	成果		一式 完了 100.00%		
2	県指定文化財出土鉄製品の保存処理	成果			一式 完了 100.00%	一式
3						

成果	県指定文化財である妙徳寺山古墳出土品の刀子について、X線透過撮影やクリーニング、脱塩処理・錆安定化処理、樹脂塗布などの保存処理を実施し、適切な状態に戻すことができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	市が保有している出土品鉄製品については保存処理が必要なものがまだ残っており、保存処理の優先順位及びその手法について検討する必要がある。今後も県などに相談し、情報収集を行う。また、保存処理を行った後の市での保存についても併せて検討する必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

274 課・局・室・所(係) 社会教育課 歴史民俗資料館 事務事業番号 230030302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進		3	文化財の保護・活用		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	文化財保存展示事業(歴史民俗資料館)	2	歴史民俗資料館管理運営事業(企画展)					政策的
	歴史・文化財について広く学習でき、興味関心を持ち、郷土愛の醸成につながるような企画展・講演会を開催する。様々なテーマで開催し、山陽小野田市の歴史へ理解を深めることを目的とする。 R5年度は、企画展「洞玄寺所蔵 十六羅漢像」「絵葉書の魅力」「古文書にみる惣社八幡宮」・やまぐち大考古博連携講演会「古墳時代の山口県と山陽小野田市の古墳文化」を開催した。また、れきみん体験教室「埴輪づくり」を4回開催した。					対象	市民・県民・歴史愛好家等		
					手段	企画展・講演会等の開催			
					意図	市民の郷土愛を育み、また本市を訪れる人に関心を持ってもらうため			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)					
支出内訳	講師謝礼	45千円	講師謝礼	15千円	消耗品費	664千円	消耗品費	716千円			
	普通旅費・通送料	18千円	普通旅費・通送料	22千円	印刷製本費	513千円	印刷製本費	438千円			
	消耗品費	729千円	消耗品費	775千円	通信運搬費	66千円	通信運搬費	117千円			
	印刷製本費	350千円	印刷製本費	366千円	普通旅費	2千円	講師謝礼	30千円			
	通信運搬費	88千円	通信運搬費	98千円			通送料	23千円			
	手数料	53千円	図書購入費	20千円			普通旅費	13千円			
	図書購入費	19千円									
	合計	1,302千円		1,296千円		1,245千円		1,337千円			
財源内訳/割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	ふるさと支援基金繰入金	1,294千円	ふるさと支援基金繰入金	1,292千円	ふるさと支援基金繰入金	1,240千円	ふるさと支援基金繰入金・その他繰入金	1,337千円		
	一般財源	その他	8千円		4千円	その他	5千円				
合計	1,302千円		1,296千円		1,245千円		1,337千円				
人工数	1.40人	3,707千円	1.00人	2,800千円	0.90人	3,104千円					
総経費	5,009千円		4,096千円		4,349千円						

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	企画展・講演会の開催回数	活動	6	6	5	6
			9	10	8	
			150.00%	166.67%	160.00%	
2	企画展・講演会の来場者数	活動	3500	3500	3000	3500
			3660	2819	2662	
			104.57%	80.54%	88.73%	
3						

成果	R5年度は、「見て楽しむ」をコンセプトに企画展を開催した。「洞玄寺所蔵 十六羅漢像」は、初の仏教美術展示として貴重な文化財を紹介した。「絵葉書の魅力」は、日本各地の絵葉書から歴史を知り楽しむ展示となった。「古文書にみる惣社八幡宮」は、R3年度より寄託された郷土の貴重な史料を解説し、調査した成果を発表した。これらはすべて初の展示であり、歴史愛好家だけでなく幅広い客層に来館してもらうことができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	来館者数を増やすために、リピーター客以外にも客層を広げたい。そのためには、様々な角度から資料調査を継続し、地域の歴史について理解を深められるような企画展を開催する。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	②
特記事項	エレベーター更新工事により1月・2月を閉館としたため、前年度より企画展開催回数が1回少ない。歴史講演会を年末に予定していたが、講師の都合により中止となった。					

R5年度 事務事業評価シート

275 課・局・室・所(係) 社会教育課 歴史民俗資料館 事務事業番号 230030401

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	3	文化財の保護・活用	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
4	歴史民俗資料館施設整備事業	1	空調設備更新事業				政策的
事業概要	1階空調機は、平成11(1999)年に更新後23年が経過し、すでに冷媒は生産が終了している。また令和5年3月にガスを充填したが、6月の定期点検の際にガス漏れが判明したため、予算補正を行い、温湿度管理ができる空調設備に更新した。				対象	1階空調設備	
					手段	空調設備の更新	
					意図	展示資料・入館者に適した室温・湿度を保つため	

事業期間	R5 年度	～	R5 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					備品購入費	2,310千円		
	合計					2,310千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債				歴史民俗資料館整備事業債	2,000千円		
	その他							
	一般財源						310千円	
合計						2,310千円		
人工数 人件費					0.10人	354千円		
総経費						2,664千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	1階空調設備の更新			更新 完了 100.00%	
2					
3					

成果	1階展示室の温湿度管理ができるようになり、展示資料の保存環境を整えることができ、来館者にも適した空間づくりができるようになった。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	-
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

276 課・局・室・所(係) 社会教育課 歴史民俗資料館 事務事業番号 230030405

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	30	芸術文化によるまちづくりの推進	3	文化財の保護・活用		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	歴史民俗資料館施設整備事業	5	エレベーター更新事業				政策的
	歴史民俗資料館のエレベーターは、開館した昭和57(1982)年に設置され40年以上経過している。館では油圧式エレベーターを使用しているが、令和5(2023)年12月に部品の供給が終わり、今後メンテナンスができなくなるため。新たにロープ式エレベーターを設置した。				対象	エレベーター		
					手段	ロープ式エレベーター更新		
					意図	安全な館運営を行うため		

事業期間	R4 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳			実施設計業務委託料	1,155千円	工事請負費	20,977千円		
					PCB分析調査委託料	358千円		
					手数料	22千円		
	合計			1,155千円		21,357千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債			歴史民俗資料館整備事業債	1,000千円	歴史民俗資料館整備事業債	18,800千円	
	その他							
	一般財源				155千円		2,557千円	
合計				1,155千円		21,357千円		
人工数 人件費	0.00人		千円	0.10人	573千円	0.10人	354千円	
総経費				1,728千円		21,711千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R3	R4	R5	R6
1	ロープ式エレベーター実施設計		一式 一式 100.00%		
2	ロープ式エレベーター更新			更新完了 100.00%	
3					

成果	R5.12月にそれまでの油圧式エレベーターの点検やメンテナンスが終了し、そのままでは運転ができなくなったが、ロープ式のエレベーターに更新し、定期点検やメンテナンスを受けることができるようになった。また、遠隔操作があるため安心して利用してもらえるようになった。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	-
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

277 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 231020101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	31	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	スポーツによるまちづくり推進事業	1	レノファ山口とのパートナーシップ事業	3-(2)		交流	政策的
	スポーツによるまちづくりと市民の一体感醸成のため、本市を練習拠点としているプロスポーツチームであるレノファ山口を活用し、選手による園児や小学生とのスポーツ交流事業などを実施する。選手やスタッフ等と市民が交流する場を作ることにより、市民の一体感の醸成を促し、地域活性化やスポーツによるまちづくりを推進する。 令和3年6月に市とレノファ山口との間で締結した包括連携協定に基づき、社会課題や地域課題の解決に向けて双方で連携した事業を実施する。レノファ山口ホームゲームでの市PRをあわせて実施する。				対象	市民		
					手段	市民(保育園、学校等)を対象にしたスポーツ交流事業等の実施 レノファ山口の練習拠点としての情報発信		
					意図	スポーツによるまちづくりの推進		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)				
支出内訳	スポーツ教室事業委託料	600千円	スポーツ教室事業委託料	600千円	スポーツ教室事業委託料	600千円	スポーツ教室事業委託料	600千円	スポーツ教室事業委託料	600千円
	消耗品費	199千円	消耗品費	188千円	消耗品費	174千円	消耗品費	180千円	消耗品費	180千円
					機械器具借上料	13千円	機械器具借上料	20千円		
	合計	799千円		788千円		787千円		800千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	600千円	ふるさと支援基金	788千円	ふるさと支援基金	787千円	ふるさと支援基金	800千円	
	一般財源		199千円							
合計		799千円		788千円		787千円		800千円		
人工数	人件費	0.30人	1,735千円	0.30人	1,558千円	0.15人	874千円			
総経費		2,534千円		2,346千円		1,661千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	交流行事の実施回数	活動	15回	15回	15回	15回
			8回	11回	13回	
			53.33%	73.33%	86.67%	
2	交流事業に参加した人数	活動	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人
			1,127人	1,627人	5320人	
			56.35%	81.35%	266.00%	
3	市SNSでの情報発信(試合結果等)	活動			42回	42回
					61回	
					145.24%	

成果	例年同様に幼稚園での交流事業に加え、中学校での交流事業の実施、健康増進課との連携事業、SOS健康フェスタへの協力など新たな事業を展開することで、レノファ山口を知ってもらふ機会を多く持つことができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	交流事業を引き続きすることで、より多くの市民の方とレノファの選手・スタッフが関わる機会を提供する。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項	選手、スタッフとの交流の機会を増やすために予算も増額する必要がある。					

R5年度 事務事業評価シート

278 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 231020102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	31	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	スポーツによるまちづくり推進事業	2	パラサイクリング支援の輪拡大事業	3-(2)		運動 交流	政策的
	パラサイクリングの主要競技の一つであり象徴的な機材であるタンデム自転車の体験会を実施し、パラサイクリングの魅力や本市とナショナルチームとの関わりを紹介を通じて、パラサイクリングを支援する人の輪を拡大する。また小学校等での出前講座の実施により、パラサイクリングに対する市民への周知を図る。 【出前講座】 3回 有帆小学校、高千帆小学校、出合小学校				対象	市民に限らず、パラサイクリングや自転車に興味のある人		
					手段	タンデム自転車体験会の実施、出前講座によるパラサイクリングナショナルチームの紹介		
					意図	パラサイクリング及びナショナルチームのファン拡大、本市のPR、障がい者スポーツへの理解促進		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
支出内訳	消耗品費		12千円				消耗品費	30千円	報償金	86千円
									消耗品費	52千円
									保険料	45千円
									修繕料	17千円
	合計		12千円					30千円		200千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他						ふるさと支援基金	30千円	ふるさと支援基金	200千円
	一般財源		12千円							
合計		12千円					30千円		200千円	
人工数 人件費	0.10人	578千円		0.16人	917千円		0.14人	816千円		
総経費		590千円			917千円			846千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	タンデム自転車体験会・出前講座	活動	6回	6回	6回	6回
			2回	4回	3回	
			33.33%	66.67%	50.00%	
2						
3						

成果	小学校での出前講座を実施し、パラサイクリングへの理解を深めることにつながっている。また令和6年夏に行われるパリパラリンピックでのパラサイクリング日本代表チームを応援する機運の醸成につながっている。					
R7年度に向けた課題及び改善策	パリパラリンピック後におけるパラサイクリング日本代表チームの応援を継続するため小学校等での出前事業を通じてパラサイクリングへの理解を深める。イベント等でのタンデム自転車の乗車体験を行うことで、広く市民への周知を図る必要がある。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

279 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 231020103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	31	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	スポーツによるまちづくり推進事業	3	パラサイクリングのまちPR事業	3-(2)		運動 交流	政策的
	東京2020パラリンピック後においてもパラサイクリング日本代表チームの支援を継続することで、パラサイクリングのまちとして情報発信を行う。また市民との交流事業を実施し、障がい者スポーツの支援、共生社会の推進を図る。 ・合宿誘致(助成制度)・交流事業(委託事業) ・講演会(パラサイクリング日本代表選手による講演会)の開催 ※人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金を活用して実施。				対象	市民に限らず、パラサイクリングや自転車に興味のある人		
					手段	合宿の誘致、交流事業の開催		
					意図	パラサイクリング及びナショナルチームのファンの拡大、スポーツ振興、地域の活性化、共生社会の意識情勢		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)				
支出内訳	報酬	76千円	合宿誘致事業補助金	396千円	合宿誘致事業補助金		合宿誘致事業補助金		合宿誘致事業補助金	1,000千円
	普通旅費	2千円	委託料	500千円	スポーツ教室事業委託料	500千円	スポーツ教室事業委託料	500千円	スポーツ教室事業委託料	500千円
	消耗品費	294千円	消耗品費	100千円	消耗品費	80千円	消耗品費	100千円	消耗品費	100千円
	委託料	500千円	印刷製本費	50千円	報償費	450千円				
			保険料	50千円	旅費	69千円				
					印刷製本費	176千円				
合計	872千円		1,096千円		1,301千円				1,600千円	
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他		ふるさと支援基金	896千円	地域創生事業交付金ふるさと支援基金	1,301千円	ふるさと支援基金	1,600千円		
	一般財源	872千円		200千円						
合計	872千円		1,096千円		1,301千円				1,600千円	
人工数 人件費	0.30人	1,735千円	0.06人	344千円	0.07人	408千円				
総経費		2,607千円		1,440千円		1,709千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	合宿の支援	活動	1回	1回	1回	1回
			1回	1回	0	
			100.00%	100.00%	0.00%	
2	交流事業の開催	活動	1回	1回	2回	2回
			1回	3回	3	
			100.00%	300.00%	150.00%	
3	交流事業参加者数	成果			50人	100人
					367人	
					734.00%	

成果	杉浦選手による講演会の開催、選手と園児・児童との交流事業の実施に「パラサイクリングのまち」としての情報発信を行うことができた。 1/14 講演会(183名参加)、10/23 ねたろう保育園(27名)、10/23 高千帆小学校(101名)、1/15 出合小学校(56名)					
R7年度に向けた課題及び改善策	パリパラリンピック後における本市でのパラサイクリング日本代表チームの合宿の誘致、選手との交流事業の実施について、継続して実施できる環境を調整する必要がある。特に合宿については、日本パラサイクリング連盟との協議し、どのような取組ができるか検討する必要がある。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

280 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 231020110

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	31	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	スポーツによるまちづくり推進事業	10	運動部活動地域移行推進事業			運動	政策的
	令和4年6月に国の運動部活動の地域移行に関する検討会議が提言した内容に基づき、中学校の運動部活動の地域移行を令和7年度末までに進める必要があり、本市における部活動の在り方についての方向性を定め、地域のスポーツ団体等が受け皿となり中学生のスポーツを行う環境を維持していくための業務を進める。				対象	中学生、スポーツ関係団体		
					手段	協議会の開催、地域団体による活動場所の提供		
					意図	中学生のスポーツ環境を整備することで、スポーツに継続して取り組む機会の確保		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					委員報酬	60千円	報償金	150千円
合計						60千円		150千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源						60千円		150千円
合計						60千円		150千円
人工数 人件費					0.20人	1,165千円		
総経費						1,225千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	地域移行部活動の数	成果			5クラブ	12クラブ
					0クラブ	
					0.00%	
2	推進協議会の開催	活動			4回	5回
					2回	
					50.00%	
3	指導者研修会の開催	活動			1回	2回
					0回	
					0.00%	

成果	年度内に協議会を2回開催し、関係者との情報共有を図り、本市の方針作成について検討を行っている。中学校部活動の地域移行までは進めることができていない。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和6年度中に本市の方針を作成し、部活動の地域移行についてできる地域・競技から取組を進める。令和7年度末までには、休日の地域移行についての仕組みを構築する必要がある。					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

281 課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 231020403

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	31	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進		
事業概要	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	4	スポーツ団体・指導者育成・支援事業	3	スポーツ推進委員ウェア支給事業				政策的
スポーツ推進の核となる「スポーツ推進委員」に定期的(任期ごと)にウェアを支給する。 任期は2年。現在の委員の任期は令和4年度末まで。 前回購入ウェア:ポロシャツ、ジャージ上下					対象	スポーツ推進委員		
					手段	スポーツ推進委員にウェア支給		
					意図	スポーツ推進委員の自覚を持つことでスポーツの振興を図る		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
	消耗品費	408千円			消耗品費	280千円				
	合計	408千円			合計	280千円				
	国庫支出金									
財源内訳/割合	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	408千円			一般財源	280千円				
合計	408千円			合計	280千円					
人工数	人件費	0.01人	58千円				0.01人	58千円		
総経費		466千円					338千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	スポーツ推進委員数	活動	25人	25人	25人	25人
			25人	25人	25	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2	スポーツ推進委員が参加するイベント・行事	成果	5回	5回	5回	5回
			2回	9回	14	
			40.00%	180.00%	280.00%	
3						

成果	委員の交代に伴い、新任委員のウェア購入を行った。				
R7年度に向けた課題及び改善策	今後も、委員の交代に合わせウェアの購入を行う。				
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					